

**令和4年度**

**大気汚染常時監視結果**

**令和5年6月**

**名古屋市環境局**



# 目 次

第1編 大気汚染常時監視結果.....	1
1 調査期間.....	1
2 測定局及び測定項目.....	1
3 測定方法.....	1
4 調査結果.....	4
(1) 環境基準の達成状況.....	4
(2) 環境目標値の達成状況.....	6
(3) 調査項目ごとの結果.....	8
ア 二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> ) .....	8
イ 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) .....	9
ウ 一酸化炭素 (CO) .....	11
エ 浮遊粒子状物質 (SPM) .....	12
オ 光化学オキシダント (O <sub>x</sub> ) .....	13
カ 炭化水素 (HC) .....	14
キ 微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> ) .....	15
第2編 有害大気汚染物質等モニタリング結果.....	18
1 調査期間.....	18
2 調査地点及び調査物質.....	18
3 調査結果.....	20

<資料編>

1	大気汚染常時監視結果.....	24
(1)	調査結果一覧表.....	24
ア	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> ) .....	24
イ	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) .....	25
ウ	一酸化炭素 (CO) .....	26
エ	浮遊粒子状物質 (SPM) .....	27
オ	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> ) .....	28
カ	炭化水素 (HC) .....	29
キ	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> ) .....	30
(2)	年平均値の推移.....	31
ア	大気汚染の推移 (全市年平均値) .....	31
イ	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> ) .....	32
ウ	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) .....	33
エ	一酸化炭素 (CO) .....	35
オ	浮遊粒子状物質 (SPM) .....	36
カ	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> ) .....	37
キ	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> ) .....	40
(3)	大気汚染物質の経年変化.....	41
(4)	気象項目測定結果 .....	44
2	有害大気汚染物質等モニタリング結果.....	46
3	環境基準・環境目標値.....	54
(1)	大気汚染に係る環境基準・環境目標値.....	54
(2)	有害大気汚染物質等に係る環境基準・指針値 .....	56
4	用語解説 .....	57

# 第1編 大気汚染常時監視結果

この調査結果は、大気汚染防止法第22条第1項の規定に基づき令和4年度に実施した本市の大気汚染状況の常時監視結果を取りまとめたものである。

## 1 調査期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## 2 測定局及び測定項目

常時監視は、市内18局（本市管理分17局、愛知県管理分1局）の測定局を、それぞれ周囲の状況により、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）11局、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）7局に区分し、二酸化硫黄、二酸化窒素を始め14項目の測定を実施している。

## 3 測定方法

各測定局で下記の測定方法に基づき、1時間ごとに測定値を算出し、テレメータ装置により、環境科学調査センターに伝送している。

測定項目	測定方法
二酸化硫黄（SO <sub>2</sub> ）	紫外線蛍光法
窒素酸化物（NO+NO <sub>2</sub> ） （二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）、一酸化窒素（NO））	オゾンを用いる化学発光法
一酸化炭素（CO）	非分散型赤外分析計を用いる方法
浮遊粒子状物質（SPM）	ベータ線吸収法
光化学オキシダント（Ox）	紫外線吸収法
炭化水素（HC） （非メタン炭化水素（NMHC）、メタン（CH <sub>4</sub> ））	水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフ法
微小粒子状物質（PM <sub>2.5</sub> ）	ベータ線吸収法

測定局および測定項目一覧

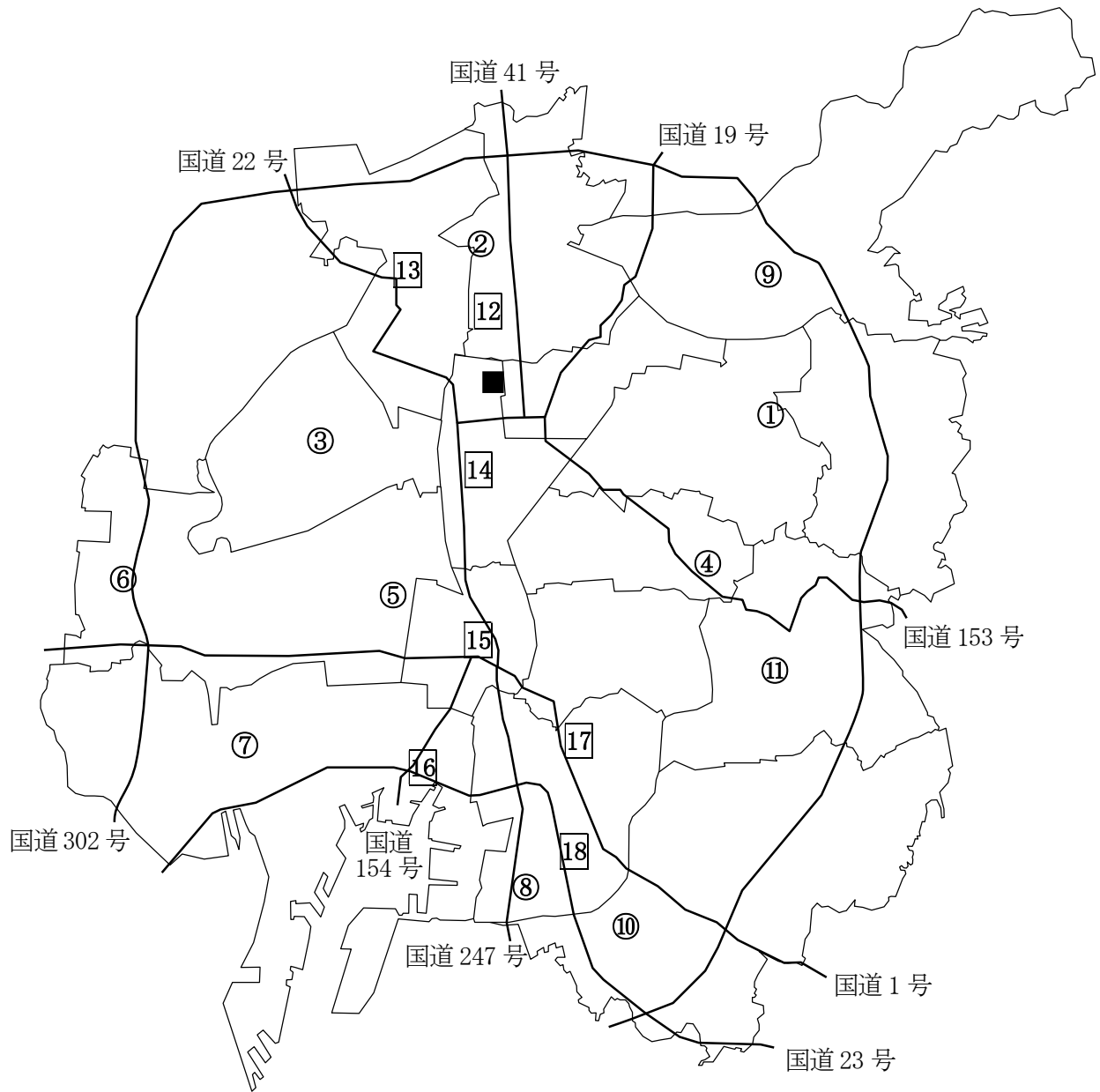
測定種別	番号	測定局	所在地	管理者	測定項目										
					二酸化硫黄	窒素酸化物 <sup>注1</sup>	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	炭化水素 <sup>注2</sup>	微小粒子状物質	風向・風速	温度・湿度	紫外線	
一般環境 大気測定局	①	国設名古屋大気環境測定所	千種区鹿子殿21-1	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②	城北つばさ高校	北区福德町字広瀬島350-4	市	○	○		○	○		○	○			
	③	名楽町 <sup>注3</sup>	中村区名楽町4-7-18	市		○		○	○		○	○			
	④	滝川小学校	昭和区滝川町131	市		○		○	○		○	○			
	⑤	八幡中学校	中川区元中野町2-11	市	○	○		○	○		○	○			
	⑥	富田支所	中川区春田三丁目215	市		○		○	○	○	○	○	○		
	⑦	惟信高校	港区惟信町2-262	市		○		○	○		○	○			
	⑧	白水小学校	南区松下町2-1	市	○	○		○	○		○	○			
	⑨	守山保健センター	守山区小幡一丁目3-1	市		○		○	○		○	○			
	⑩	大高北小学校	緑区大高町字町屋川1	市		○		○	○		○	○			
	⑪	天白保健センター	天白区島田二丁目201	市		○		○	○		○	○			○
自動車 排出ガス 測定局	12	上下水道局北営業所	北区田幡二丁目4-5	市		○		○			○	○			
	13	名塚中学校	西区新福寺町2-1-2	市		○		○	○		○	○			
	14	若宮大通公園	中区大須二丁目404番地先	市	○	○		○	○		○	○	○		
	15	熱田神宮公園	熱田区旗屋一丁目10-45	市		○		○			○	○			
	16	港 陽	港区港陽一丁目1-65	市		○		○	○		○	○			
	17	千 竈	南区汐田町1304	市		○		○			○	○			
	18	元塩公園	南区元塩町2	市		○	○	○			○	○	○		
計		愛知県管理分		一般局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
				自排局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		名古屋市管理分		一般局	3	10	0	10	10	1	10	10	1	1	
				自排局	1	7	1	7	3	1	7	7	1	0	
合 計				一般局	4	11	1	11	11	2	11	11	2	1	
				自排局	1	7	1	7	3	1	7	7	1	0	

注1 窒素酸化物とは、一酸化窒素と二酸化窒素である。

注2 炭化水素とは、非メタン炭化水素とメタンである。

注3 令和5年1月から、「中村保健センター」から「名楽町」に測定局名を変更した。

# 測定局の配置図



番号	測定種別（管理者）
①	一般環境大気測定局（愛知県）
②～⑪	一般環境大気測定局（名古屋市）
⑫～⑱	自動車排出ガス測定局（名古屋市）

■ : 名古屋市役所

## 4 調査結果

### (1) 環境基準の達成状況

長期的評価では、二酸化硫黄(5局)、二酸化窒素(17局)、一酸化炭素(2局)、浮遊粒子状物質(18局)、微小粒子状物質(18局)が全測定局で達成した。

短期的評価(24ページ以降資料編参照)では、二酸化硫黄(5局)、一酸化炭素(2局)、浮遊粒子状物質(18局)は全測定局で達成した。光化学オキシダント(14局)はすべての測定局で達成しなかった。

項目 測定局	二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )			二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )		一酸化炭素(CO)			
	長期的評価 (0.04ppm以下)			長期的評価 (0.06ppm以下)		長期的評価 (10ppm以下)			
	2% 除外値	2日以上連続 超過の有無	達成 状況	98%値	達成 状況	2% 除外値	2日以上連続 超過の有無	達成 状況	
	ppm		適○ 否×	ppm	適○ 否×	ppm		適○ 否×	
一般環境 大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	0.002	無	○	(0.019)	—	0.4	無	○
	城北つばさ高校	0.001	無	○	0.026	○	—	—	—
	名 楽 町	—	—	—	0.026	○	—	—	—
	滝川小学校	—	—	—	0.023	○	—	—	—
	八幡中学校	0.003	無	○	0.028	○	—	—	—
	富田支所	—	—	—	0.023	○	—	—	—
	惟信高校	—	—	—	0.025	○	—	—	—
	白水小学校	0.003	無	○	0.029	○	—	—	—
	守山保健センター	—	—	—	0.022	○	—	—	—
	大高北小学校	—	—	—	0.025	○	—	—	—
	天白保健センター	—	—	—	0.024	○	—	—	—
	達成状況(一般局)	—	—	4 / 4	—	10 / 10	—	—	1 / 1
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	—	—	—	0.029	○	—	—	—
	名塚中学校	—	—	—	0.023	○	—	—	—
	若宮大通公園	0.003	無	○	0.030	○	—	—	—
	熱田神宮公園	—	—	—	0.029	○	—	—	—
	港 陽	—	—	—	0.029	○	—	—	—
	千 竈	—	—	—	0.027	○	—	—	—
	元塩公園	—	—	—	0.038	○	0.5	無	○
	達成状況(自排局)	—	—	1 / 1	—	7 / 7	—	—	1 / 1
達成状況(市内)	—	—	5 / 5	—	17 / 17	—	—	2 / 2	

注 令和4年度の国設名古屋大気環境測定所は、二酸化窒素について測定時間が6,000時間に達していないため、測定局数から除外した。



項目 測定局		浮遊粒子状物質 (SPM)			光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )		微小粒子状物質 (PM2.5)		
		長期的評価 (0.10mg/m <sup>3</sup> 以下)			短期的評価 (0.06ppm以下)		長期的評価		
		2% 除外値	2日以上連続 超過の有無	達成 状況	昼間 (5~ 20時) の 1時間値の 最高値	達成 状況	短期基準 (35μg/m <sup>3</sup> 以下)	長期基準 (15μg/m <sup>3</sup> 以下)	達成 状況
							日平均値の 98パーセン タイル値	年平均値	
mg/m <sup>3</sup>		適○ 否×	ppm	適○ 否×	μg/m <sup>3</sup>	μg/m <sup>3</sup>	適○ 否×		
一般環境 大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	0.024	無	○	0.106	×	20.5	9.4	○
	城北つばさ高校	0.029	無	○	0.097	×	20.3	8.9	○
	名 楽 町	0.029	無	○	0.102	×	18.7	8.1	○
	滝川小学校	0.027	無	○	0.098	×	19.5	8.9	○
	八幡中学校	0.029	無	○	0.092	×	23.6	11.0	○
	富田支所	0.029	無	○	0.093	×	20.8	8.5	○
	惟信高校	0.028	無	○	0.095	×	21.6	8.9	○
	白水小学校	0.031	無	○	0.093	×	21.6	10.0	○
	守山保健センター	0.020	無	○	0.104	×	20.3	9.3	○
	大高北小学校	0.031	無	○	0.110	×	19.7	9.3	○
	天白保健センター	0.025	無	○	0.094	×	19.2	8.8	○
	達成状況 (一般局)	—	—	11 / 11	—	0 / 11	—	—	11 / 11
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	0.028	無	○	—	—	20.1	8.6	○
	名塚中学校	0.032	無	○	0.103	×	20.7	9.3	○
	若宮大通公園	0.028	無	○	0.089	×	20.0	9.2	○
	熱田神宮公園	0.023	無	○	—	—	19.4	8.5	○
	港 陽	0.031	無	○	0.095	×	22.7	10.0	○
	千 竈	0.029	無	○	—	—	23.3	10.8	○
	元塩公園	0.024	無	○	—	—	22.9	11.2	○
達成状況 (自排局)	—	—	7 / 7	—	0 / 3	—	—	7 / 7	
達成状況 (市内)	—	—	18 / 18	—	0 / 14	—	—	18 / 18	

(2) 環境目標値の達成状況

市民の健康の保護に係る目標値のうち、長期的評価では、二酸化窒素(17局)、浮遊粒子状物質(18局)、微小粒子状物質(18局)が全測定局で達成した。

短期的評価(24ページ以降資料編参照)では、浮遊粒子状物質(18局)は全測定局で達成した。光化学オキシダント(14局)はすべての測定局で達成しなかった。

快適な生活環境の確保に係る目標値の浮遊粒子状物質(18局)は16局で達成した。

項目 測定局		市民の健康の保護に係る目標値						
		二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )		浮遊粒子状物質(SPM)			光化学オキシダント(O <sub>x</sub> )	
		長期的評価 (0.04ppm以下)		長期的評価 (0.10mg/m <sup>3</sup> 以下)			短期的評価 (0.06ppm以下)	
		98%値	達成 状況	2% 除外値	2日 以上連続 超過の 有無	達成 状況	昼間(5~ 20時)の 1時間値の 最高値	達成 状況
ppm	適○ 否×	mg/m <sup>3</sup>		適○ 否×	ppm	適○ 否×		
一般環境 大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	(0.019)	—	0.024	無	○	0.106	×
	城北つばさ高校	0.026	○	0.029	無	○	0.097	×
	名 楽 町	0.026	○	0.029	無	○	0.102	×
	滝川小学校	0.023	○	0.027	無	○	0.098	×
	八幡中学校	0.028	○	0.029	無	○	0.092	×
	富田支所	0.023	○	0.029	無	○	0.093	×
	惟信高校	0.025	○	0.028	無	○	0.095	×
	白水小学校	0.029	○	0.031	無	○	0.093	×
	守山保健センター	0.022	○	0.020	無	○	0.104	×
	大高北小学校	0.025	○	0.031	無	○	0.110	×
	天白保健センター	0.024	○	0.025	無	○	0.094	×
達成状況(一般局)		—	10 / 10	—	—	11 / 11	—	0 / 11
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	0.029	○	0.028	無	○	—	—
	名塚中学校	0.023	○	0.032	無	○	0.103	×
	若宮大通公園	0.030	○	0.028	無	○	0.089	×
	熱田神宮公園	0.029	○	0.023	無	○	—	—
	港 陽	0.029	○	0.031	無	○	0.095	×
	千 竈	0.027	○	0.029	無	○	—	—
	元塩公園	0.038	○	0.024	無	○	—	—
達成状況(自排局)		—	7 / 7	—	—	7 / 7	—	0 / 3
達成状況(市内)		—	17 / 17	—	—	18 / 18	—	0 / 14

注 令和4年度の国設名古屋大気環境測定所は、二酸化窒素について測定時間が6,000時間に達していないため、測定局数から除外した。

項目 測定局	市民の健康の保護に係る目標値			快適な生活環境の確保に係る目標値		
	微小粒子状物質(PM2.5)			浮遊粒子状物質(SPM)		
	長期的評価			長期的評価 (0.015mg/m <sup>3</sup> 以下)		
	短期基準 (35μg/m <sup>3</sup> 以下)	長期基準 (15μg/m <sup>3</sup> 以下)	達成 状況	年平均値	達成 状況	
	日平均値の 98パーセン タイル値	年平均値				
μg/m <sup>3</sup>	μg/m <sup>3</sup>	適○ 否×	mg/m <sup>3</sup>	適○ 否×		
一般環境 大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	20.5	9.4	○	0.011	○
	城北つばさ高校	20.3	8.9	○	0.014	○
	名 楽 町	18.7	8.1	○	0.015	○
	滝川小学校	19.5	8.9	○	0.013	○
	八幡中学校	23.6	11.0	○	0.014	○
	富田支所	20.8	8.5	○	0.013	○
	惟信高校	21.6	8.9	○	0.012	○
	白水小学校	21.6	10.0	○	0.016	×
	守山保健センター	20.3	9.3	○	0.009	○
	大高北小学校	19.7	9.3	○	0.015	○
	天白保健センター	19.2	8.8	○	0.010	○
	達成状況(一般局)	—	—	11 / 11	—	10 / 11
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	20.1	8.6	○	0.012	○
	名塚中学校	20.7	9.3	○	0.016	×
	若宮大通公園	20.0	9.2	○	0.014	○
	熱田神宮公園	19.4	8.5	○	0.011	○
	港 陽	22.7	10.0	○	0.015	○
	千 竈	23.3	10.8	○	0.014	○
	元塩公園	22.9	11.2	○	0.012	○
達成状況(自排局)	—	—	7 / 7	—	6 / 7	
達成状況(市内)	—	—	18 / 18	—	16 / 18	

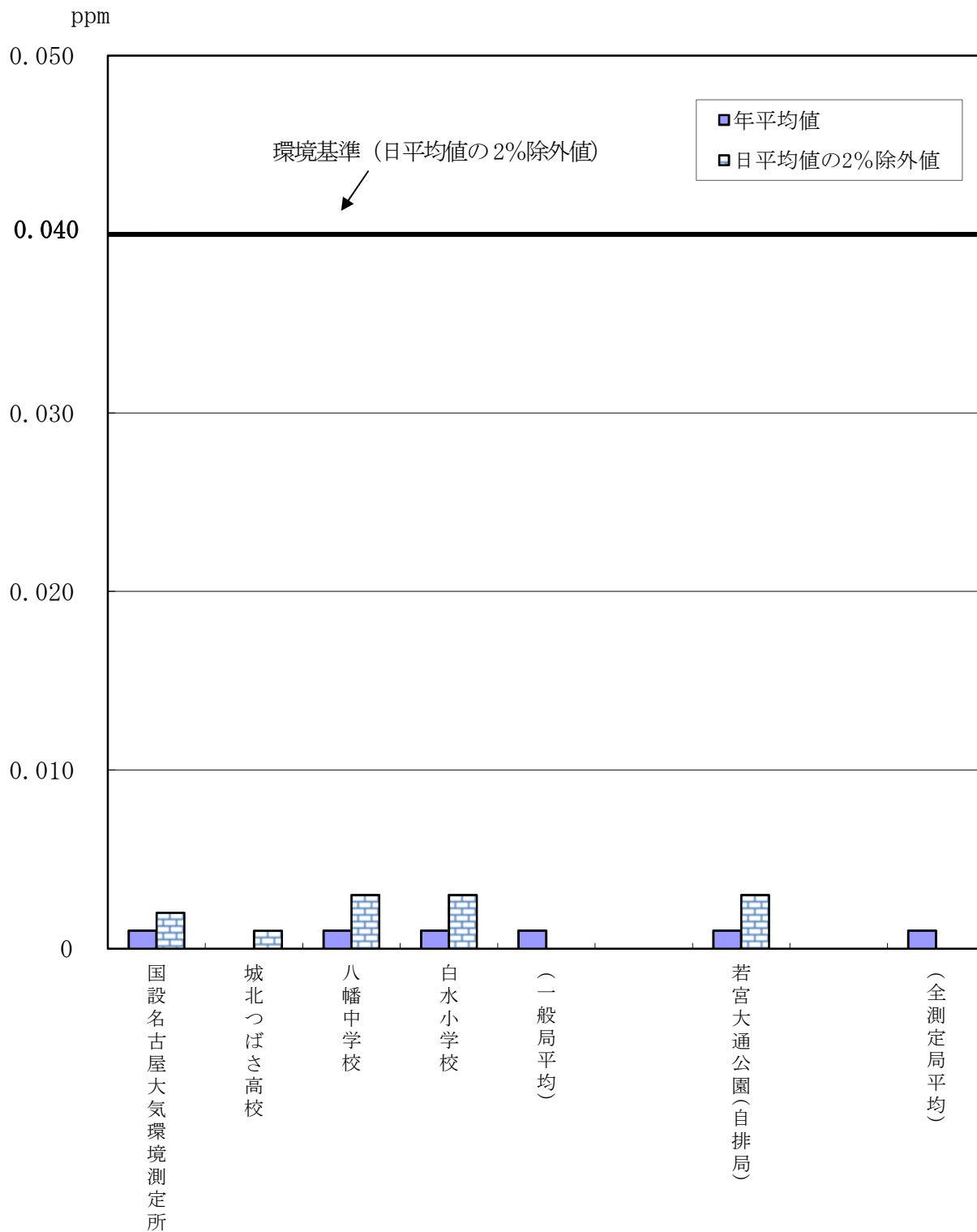
(3) 調査項目ごとの結果

ア 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

5局(一般局4局、自排局1局)で測定した。

年平均値の全測定局平均は、0.001ppmであった。一般局平均は0.001ppm、自排局は0.001ppmであった。

環境基準は、長期的評価、短期的評価とも全測定局で達成した。



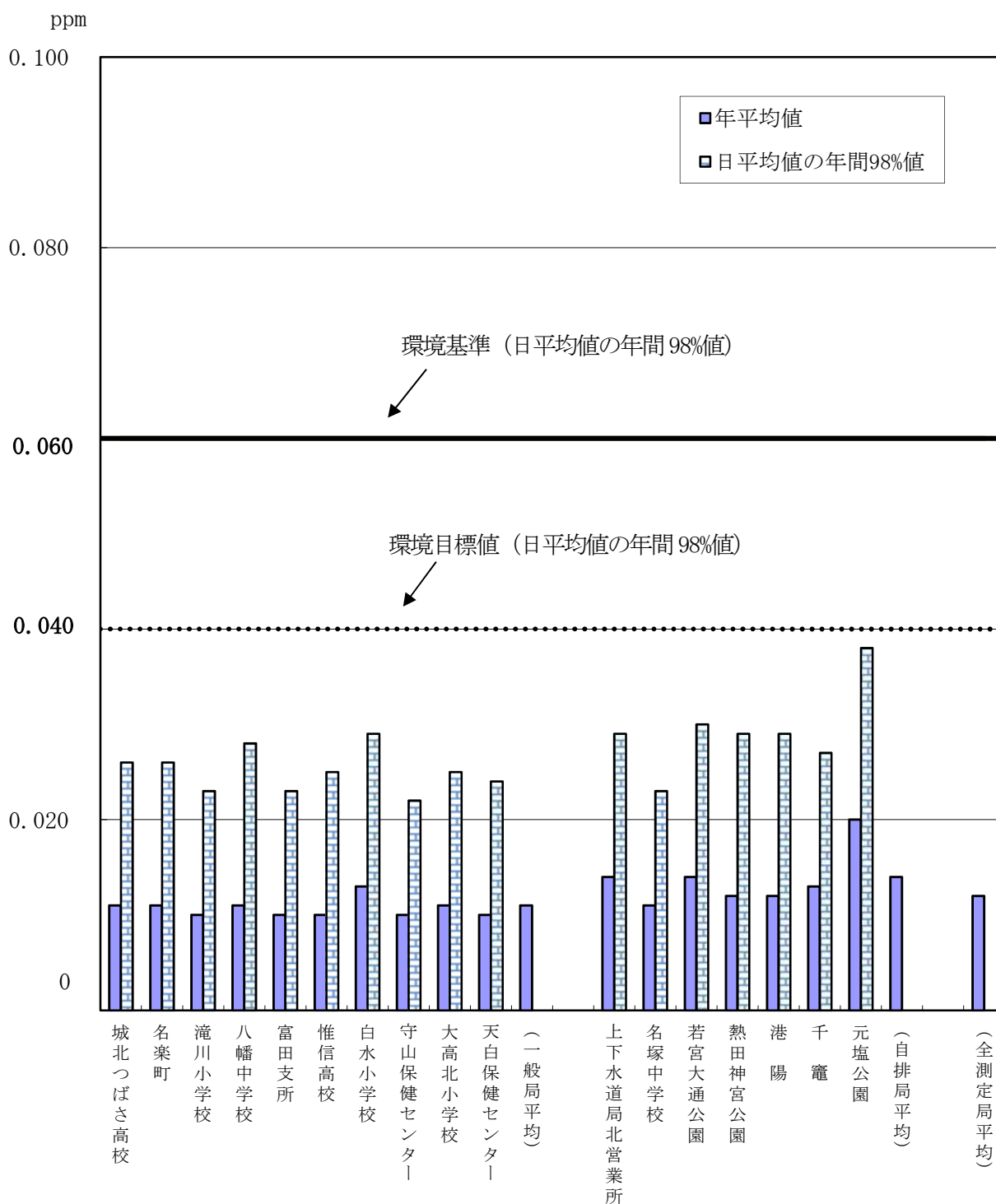
イ 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

18局（一般局11局、自排局7局）で測定したが、「国設名古屋大気環境測定所」については、年間測定時間が6,000時間未満であり有効測定局でないため、長期的評価の対象となる測定局は17局（一般局10局、自排局7局）になる。

(ア) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

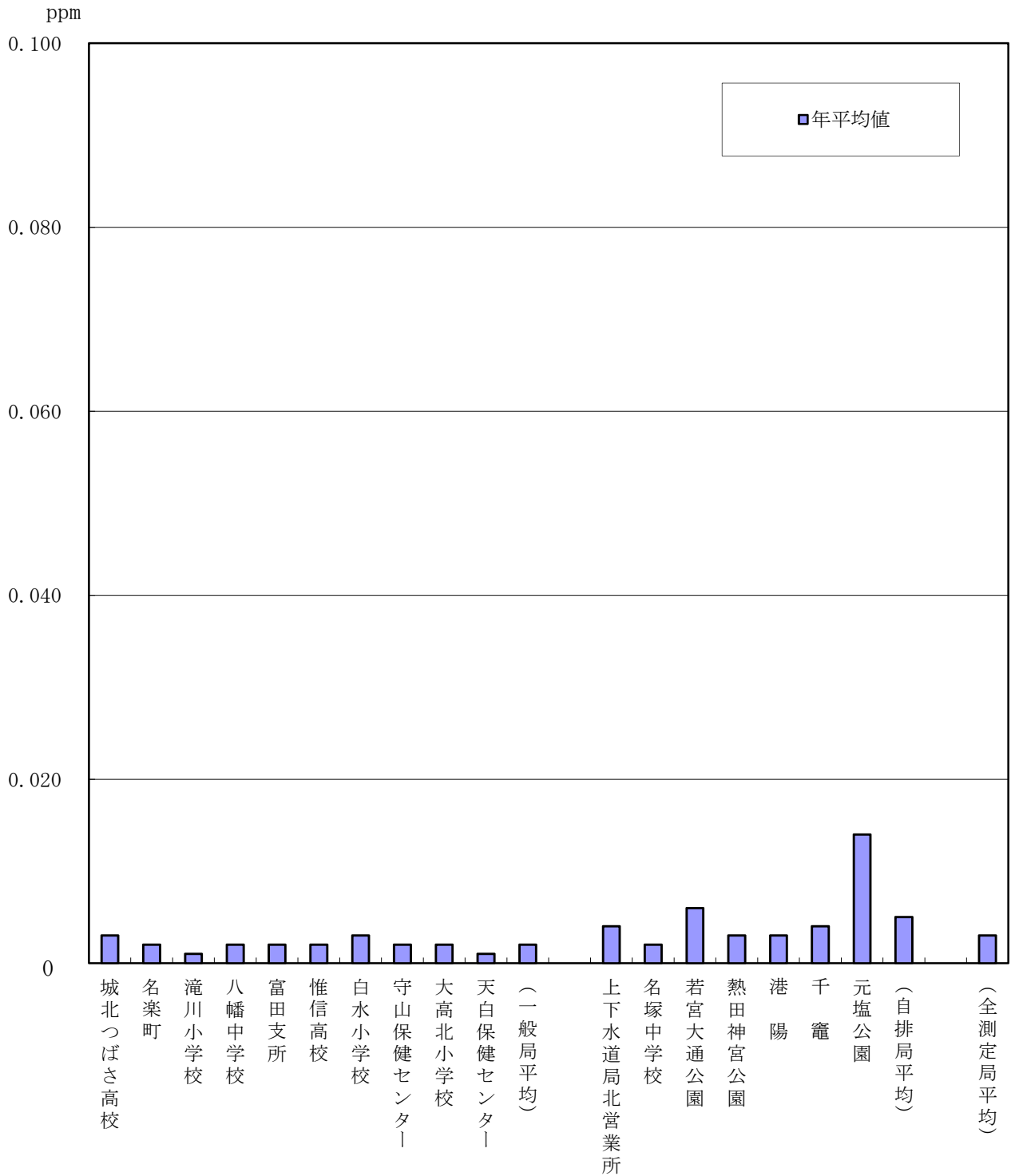
年平均値の全測定局平均は 0.012ppm であった。一般局平均は 0.011ppm、自排局平均は 0.014ppm であった。

環境基準・環境目標値とも全測定局で達成した。



(イ) 一酸化窒素 (NO)

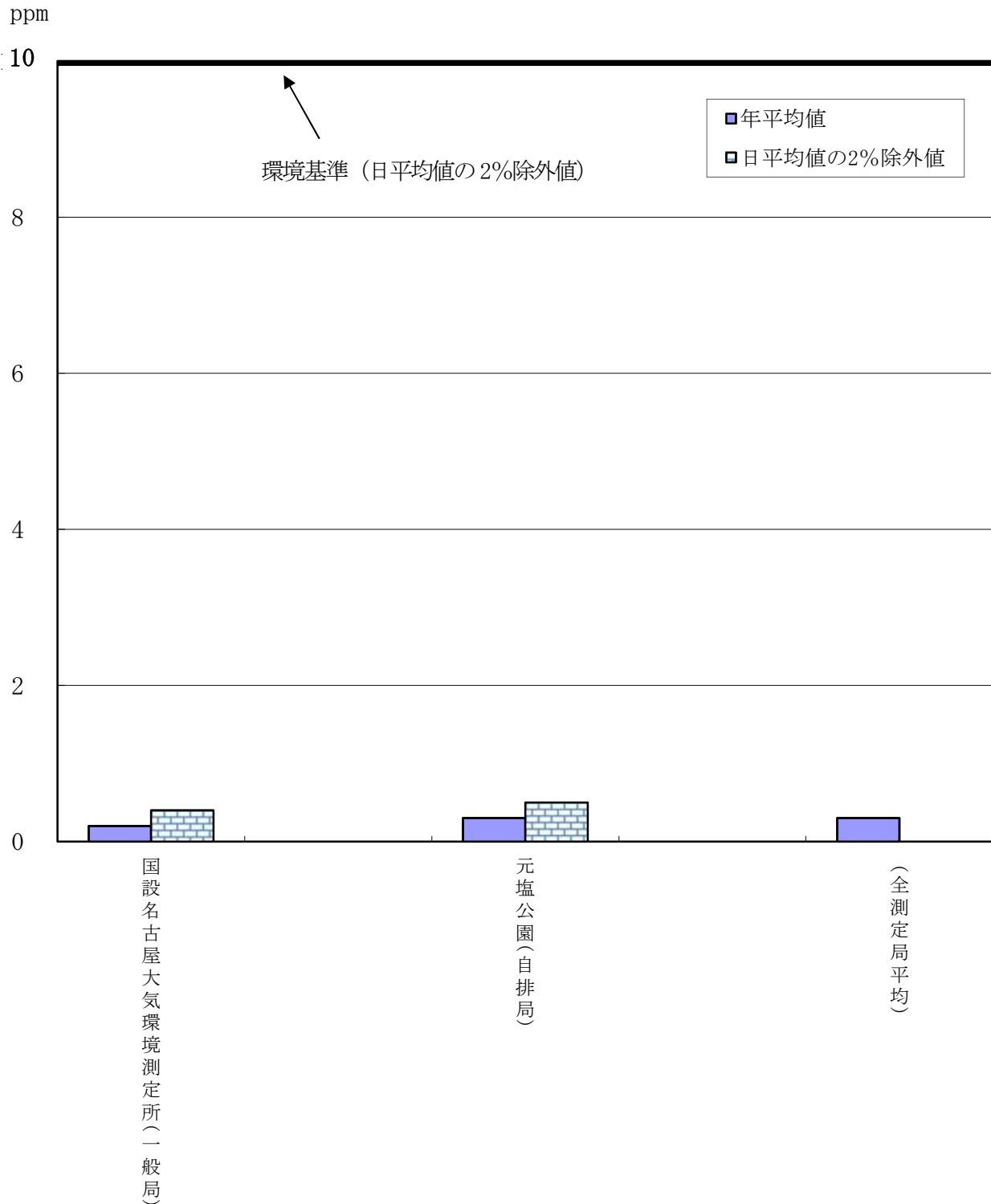
年平均値の全測定局平均は 0.003ppm であった。一般局平均は 0.002ppm、自排局平均は 0.005ppm であった。



ウ 一酸化炭素 (CO)

2局 (一般局1局、自排局1局) で測定した。

年平均値の全測定局平均は0.3ppmであった。一般局は0.2ppm、自排局は0.3ppmであった。  
環境基準は、長期的評価、短期的評価とも全測定局で達成した。



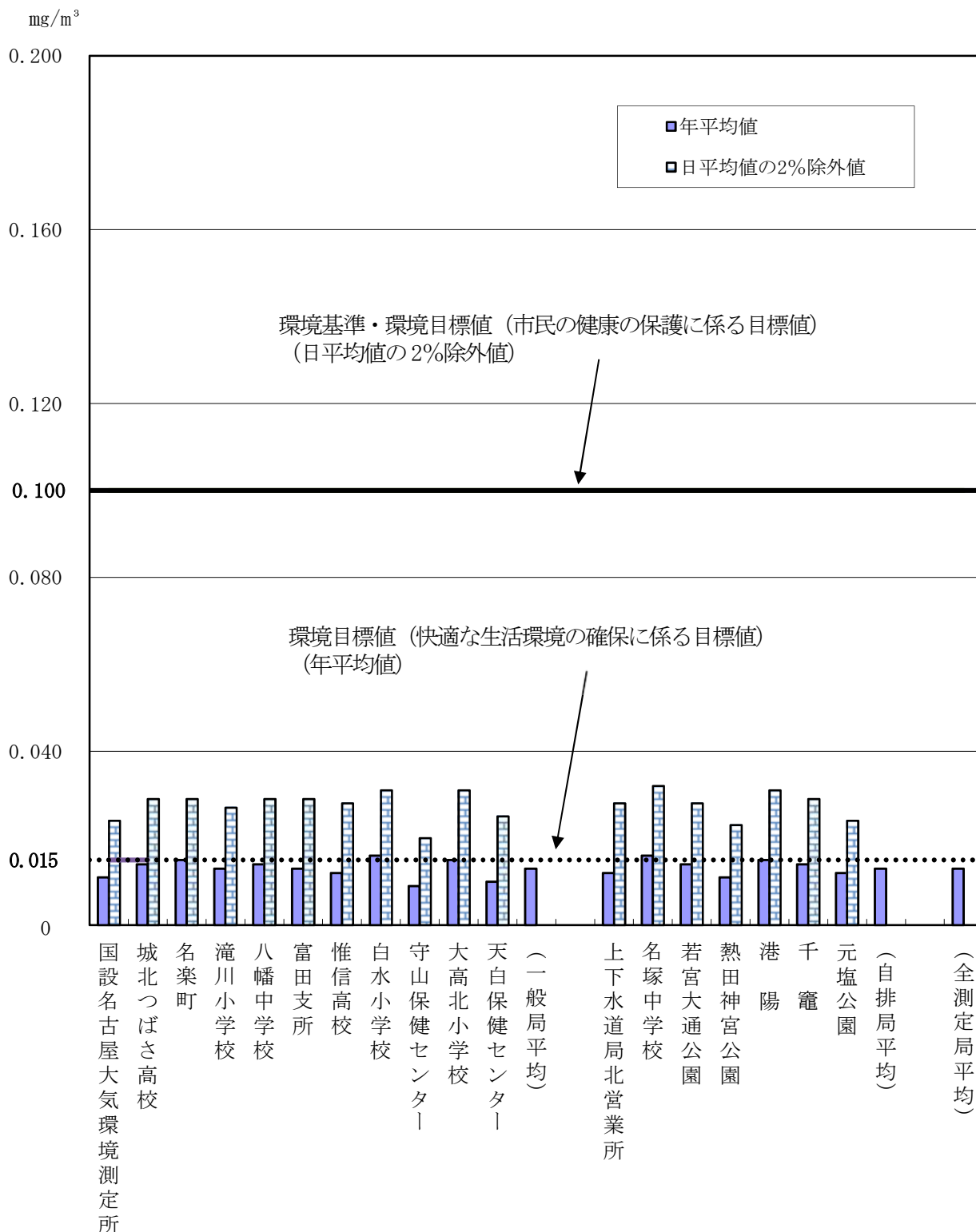
エ 浮遊粒子状物質 (S P M)

18局 (一般局11局、自排局7局) で測定した。

年平均値の全測定局平均は  $0.013\text{mg}/\text{m}^3$  であった。一般局平均は  $0.013\text{mg}/\text{m}^3$ 、自排局平均は  $0.013\text{mg}/\text{m}^3$  であった。

環境基準・環境目標値 (市民の健康の保護に係る目標値) は長期的評価、短期的評価とも全測定局で達成した。

環境目標値 (快適な生活環境の確保に係る目標値) は、一般局10局、自排局6局で達成した。



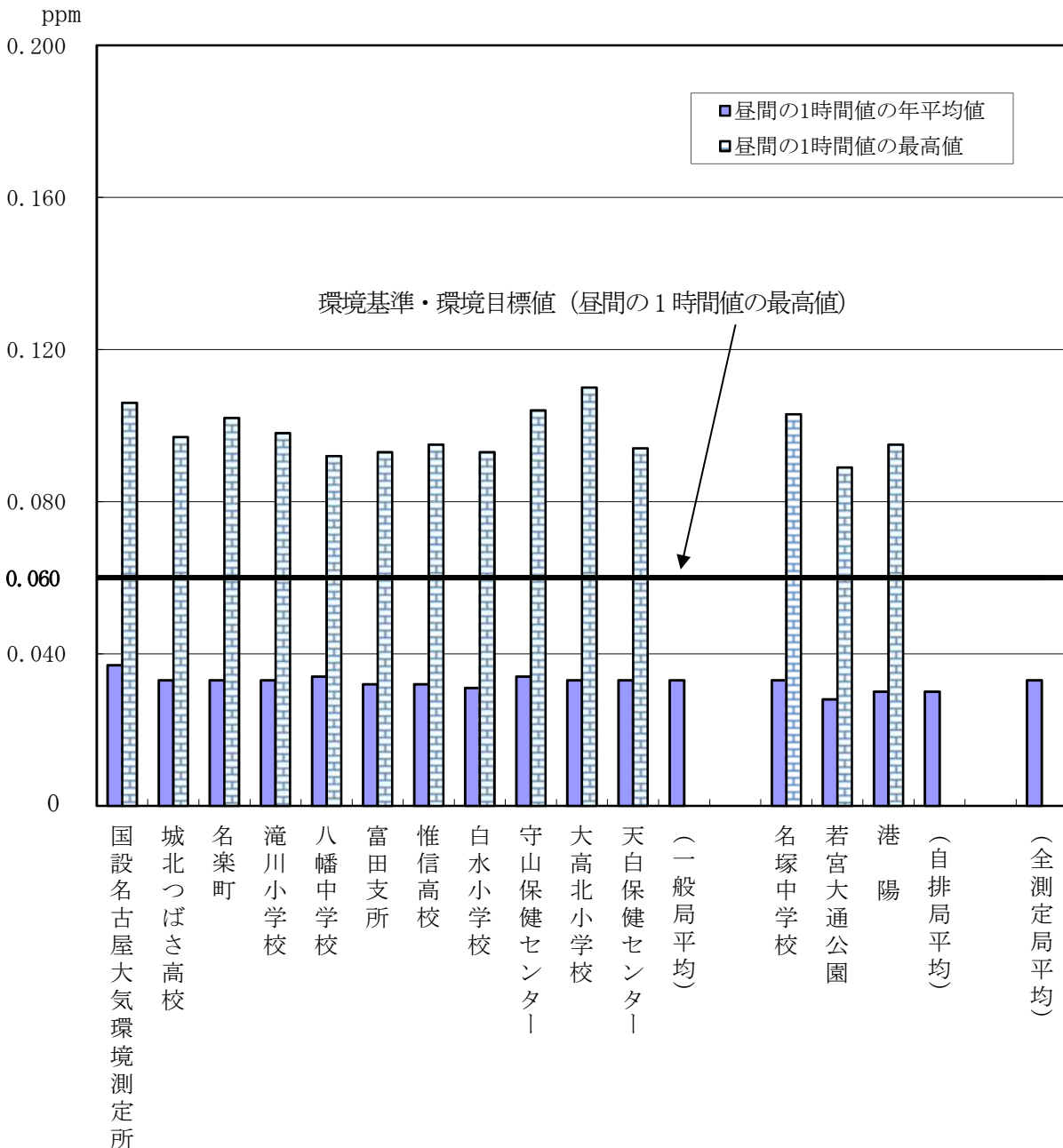


オ 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

14局（一般局11局、自排局3局）で測定した。

昼間（5～20時）の年平均値の全測定局平均は0.033ppmであった。一般局平均は0.033ppm、自排局平均は0.030ppmであった。

環境基準、環境目標値の達成局はなかった。



【光化学スモッグ注意報等の発令について】

名古屋区域の光化学オキシダント濃度が高濃度になった場合には、愛知県から「光化学スモッグ予報」や「光化学スモッグ注意報」等が発令されます。

○令和4年度の光化学スモッグ注意報等の発令状況  
光化学スモッグ注意報等の発令はありませんでした。

カ 炭化水素 (HC)

3局 (一般局2局、自排局1局) で測定した。

(ア) 非メタン炭化水素 (NMHC)

年平均値 (6~9時) の全測定局平均は0.15ppmCであった。一般局平均は0.14ppmC、自排局は0.17ppmCであった。

(イ) メタン (CH<sub>4</sub>)

年平均値 (6~9時) の全測定局平均は2.05ppmCであった。一般局平均は2.06ppmC、自排局は2.04ppmCであった。

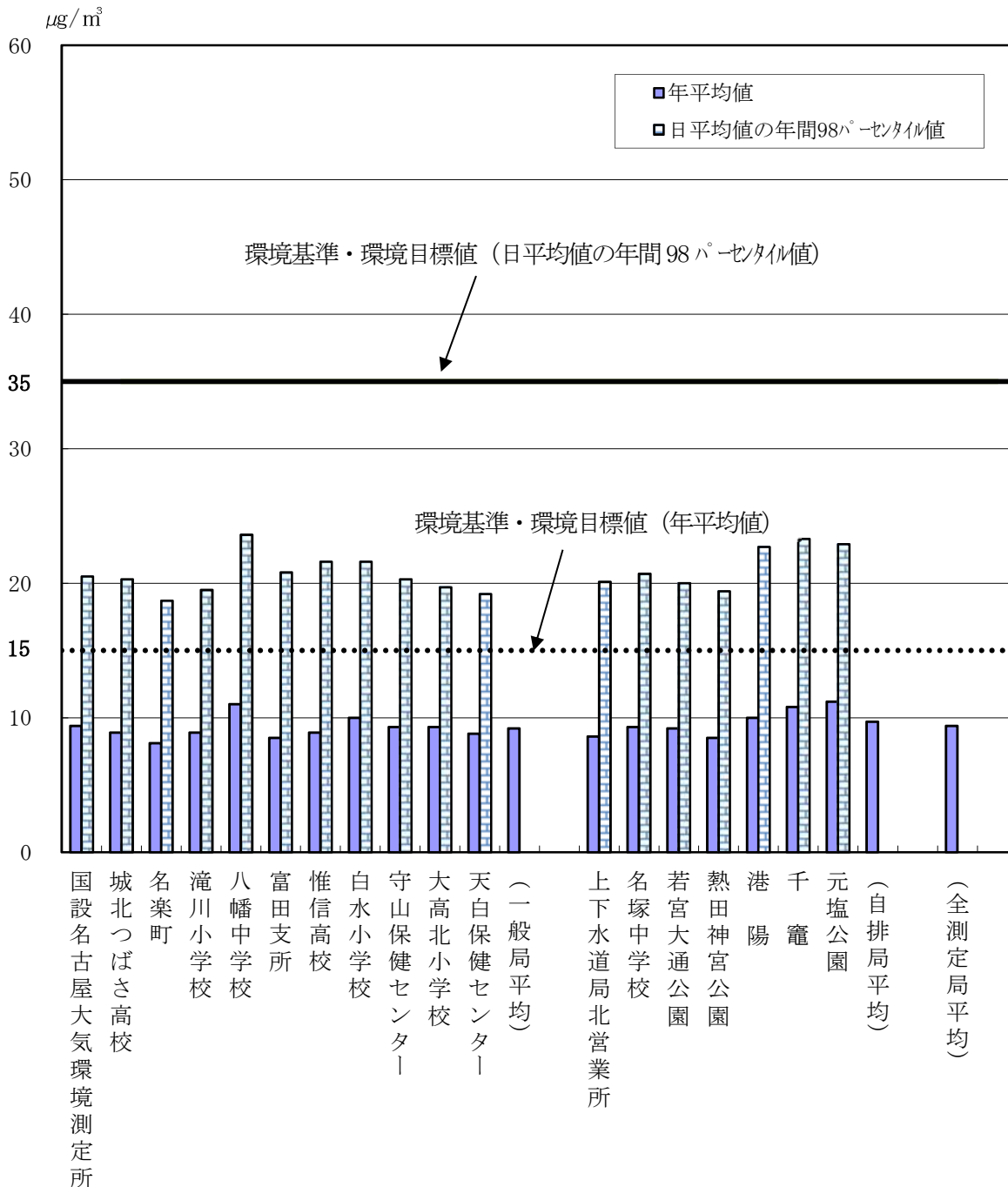
注 光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針が昭和51年の中央公害対策審議会答申において示されており、非メタン炭化水素を測定している。同指針においては、「光化学オキシダントの日最高値1時間値0.06ppmに対応する、午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にある。」としている。

キ 微小粒子状物質（PM2.5）

18局（一般局11局、自排局7局）で測定した。

年平均値の全測定局平均は9.4  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。一般局平均は9.2  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局平均は9.7  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。

環境基準・環境目標値とも全測定局で達成した。



【PM2.5 注意喚起情報の発表について】

名古屋市を含む尾張区域のPM2.5の一日平均値が70  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えると予想される場合、愛知県から「PM2.5 注意喚起情報」が発表されます。

○令和4年度のPM2.5 注意喚起情報の発表状況

PM2.5 注意喚起情報の発表はありませんでした。

[微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）成分分析結果]

(1) 目的

微小粒子状物質の健康影響調査に資する知見の充実を図るとともに、その原因物質の排出状況の把握及び排出インベントリの作成、大気中の挙動や二次生成機構の解明等、科学的知見の集積を踏まえたより効果的な対策の検討を行うため、質量濃度の測定に加え、成分分析を行う。

(2) 調査の概要

4局（一般局2局、自排局2局）で春期、夏期、秋期、冬期にそれぞれ2週間、1日ごとに採取装置で微小粒子状物質を捕集し、成分分析を実施した。

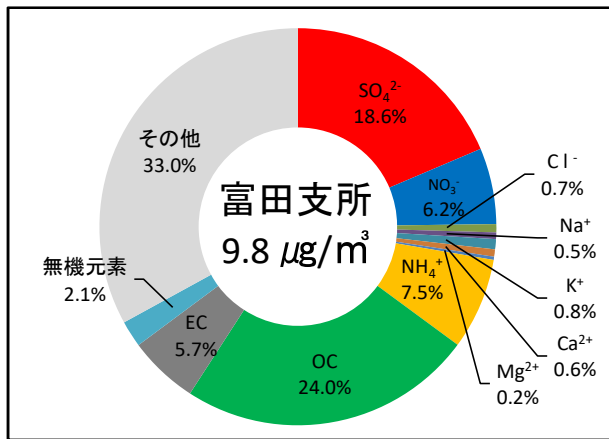
(3) 実施期間

春期：令和4年5月12日～5月26日      夏期：令和4年7月21日～8月4日  
 秋期：令和4年10月20日～11月3日      冬期：令和5年1月19日～2月2日

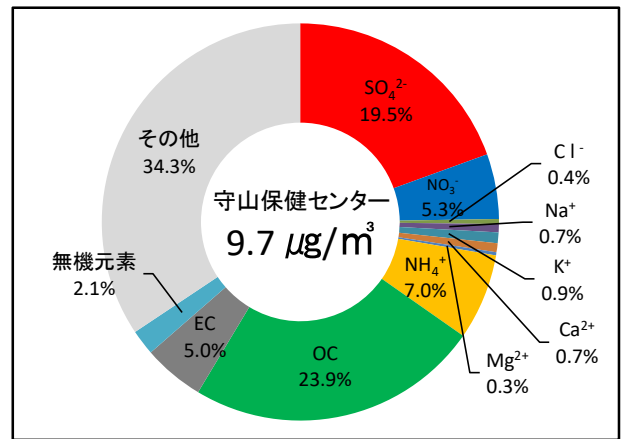
(4) 調査結果

1日ごとの分析結果の平均は、以下のとおりである。

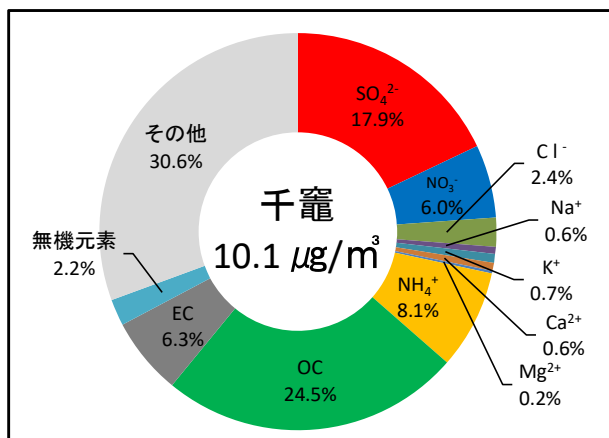
富田支所（一般局、56日間）



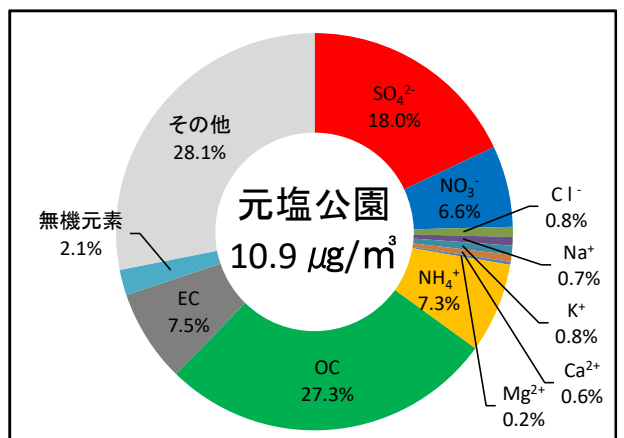
守山保健センター（一般局、56日間）



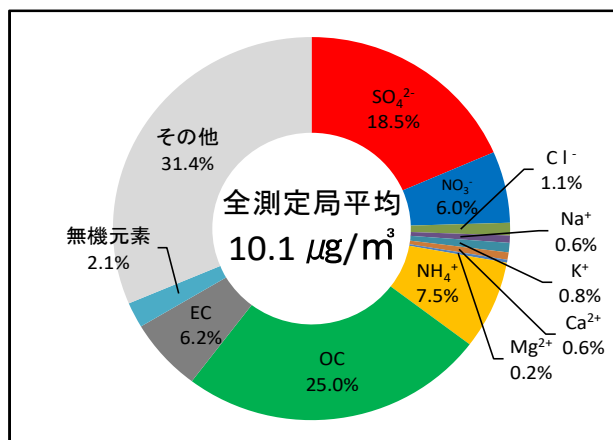
千竈（自排局、56日間）



元塩公園（自排局、56日間）

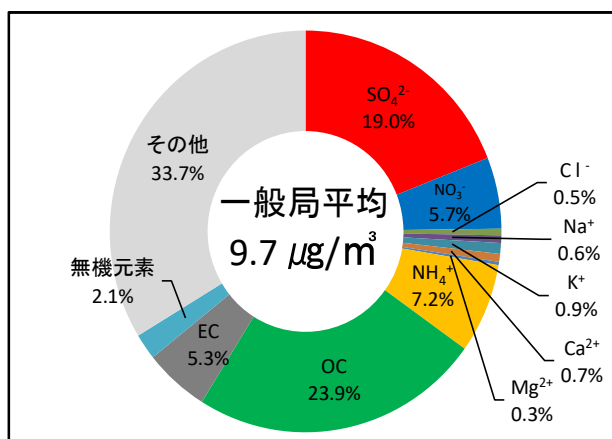


全測定局平均

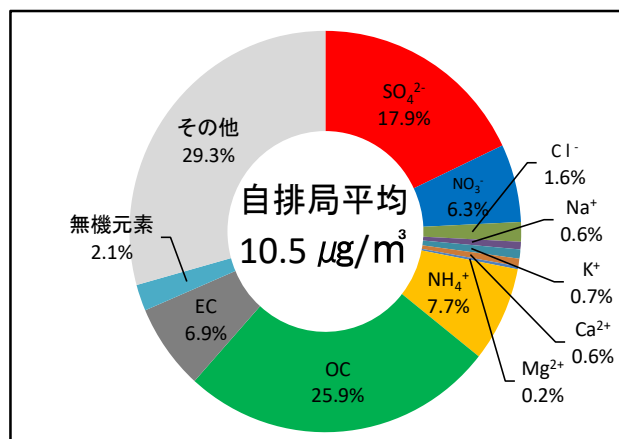


- SO<sub>4</sub><sup>2-</sup> : 硫酸イオン
- NO<sub>3</sub><sup>-</sup> : 硝酸イオン
- Cl<sup>-</sup> : 塩化物イオン
- Na<sup>+</sup> : ナトリウムイオン
- K<sup>+</sup> : カリウムイオン
- Ca<sup>2+</sup> : カルシウムイオン
- Mg<sup>2+</sup> : マグネシウムイオン
- NH<sub>4</sub><sup>+</sup> : アンモニウムイオン
- OC : 有機炭素
- EC : 元素状炭素
- 無機元素 : 鉄、アルミニウム、亜鉛など

一般局平均



自排局平均



注 合計して100%にならない場合があります。

分析：名古屋市環境科学調査センター

## 第2編 有害大気汚染物質等モニタリング結果

この調査結果は、大気汚染防止法第22条第1項の規定に基づき令和4年度に実施した本市の有害大気汚染物質等のモニタリング結果を取りまとめたものである。

### 1 調査期間

令和4年4月から令和5年3月まで毎月1回（24時間試料採取）

### 2 調査地点及び調査物質

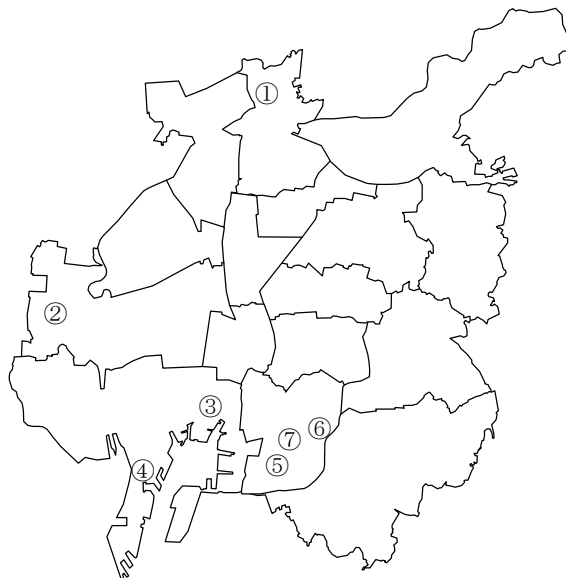
#### (1) 調査地点

市内の有害大気汚染物質等による大気汚染の状況を適切に把握するため、7地点で調査を実施した。

調査地点

	調査地点	所在地
①	会所町	北区会所町126地先
②	富田支所	中川区春田三丁目215
③	港陽	港区港陽一丁目1-65
④	野跡小学校	港区野跡一丁目4-11
⑤	白水小学校	南区松下町2-1
⑥	本地通	南区本地通6-1-1
⑦	元塩公園	南区元塩町2

調査地点図



(2) 調査地点ごとの調査物質とその属性

環境省の「有害大気汚染物質モニタリング地点選定ガイドライン」により、各調査地点の調査物質ごとに、大規模な有害大気汚染物質等の発生源により影響を受ける可能性がある場合は「固定発生源周辺」の属性に、道路を走行する自動車等の影響がある調査地点は「沿道」の属性に選定した。さらに、「固定発生源周辺」の属性及び「沿道」の属性に選定しなかった調査物質については、「一般環境」の属性に選定した。

調査地点ごとの調査物質とその属性は、表のとおりである。

調査地点ごとの調査物質とその属性

物質 調査地点	環境基準が定められている物質				指針値が定められている物質											環境基準・指針値が定められていない物質						
	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	水銀及びその化合物	ニッケル化合物	クロロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	ヒ素及びその化合物	マンガン及びその化合物	塩化メチル	アセトアルデヒド	ホルムアルデヒド	酸化エチレン	ベンゾ[a]ピレン	クロム及びその化合物	ベリリウム及びその化合物	トルエン	
会所町	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
富田支所	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
港陽	B	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B
野跡小学校	B	A	A	A	A	A	-	-	B	A	A	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	B
白水小学校	B	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	B	B
本地通	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D
元塩公園	D	C	C	C	C	C	C	D	D	C	C	C	D	C	C	C	C	C	D	C	D	D

凡例 A：一般環境、B：固定発生源周辺、C：沿道、D：沿道かつ固定発生源周辺

-：調査対象外

### 3 調査結果

(1) 環境基準が定められている物質

環境基準は、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンの4物質が設定されており、すべての地点で達成した。

環境基準が定められている物質の調査結果（年平均値及び達成状況）

調査物質	調査地点	年平均値	達成状況	環境基準
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.74	○	3 以下
	富田支所	0.67	○	
	港陽	0.68	○	
	野跡小学校	0.78	○	
	白水小学校	0.78	○	
	本地通	0.86	○	
	元塩公園	0.77	○	
トリクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.23	○	130 以下
	富田支所	0.41	○	
	港陽	0.51	○	
	野跡小学校	0.85	○	
	白水小学校	0.52	○	
	本地通	1.1	○	
	元塩公園	0.54	○	
テトラクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.13	○	200 以下
	富田支所	0.10	○	
	港陽	0.39	○	
	野跡小学校	0.082	○	
	白水小学校	0.25	○	
	本地通	0.13	○	
	元塩公園	0.21	○	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	4.1	○	150 以下
	富田支所	4.4	○	
	港陽	8.4	○	
	野跡小学校	4.0	○	
	白水小学校	7.7	○	
	本地通	7.6	○	
	元塩公園	6.4	○	

注 環境基準の達成状況は、年平均値と環境基準との比較により行う。(達成:○、非達成:×)



(2) 指針値が定められている物質

指針値は、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル並びにアセトアルデヒドの 11 物質が設定されており、すべての地点で達成した。

指針値が定められている物質の調査結果（年平均値及び達成状況）

調査物質	調査地点	年平均値	達成状況	指針値
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.041	○	2 以下
	富田支所	0.023	○	
	港陽	0.038	○	
	野跡小学校	0.034	○	
	白水小学校	0.056	○	
	本地通	0.029	○	
	元塩公園	0.048	○	
塩化ビニル モノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.0079	○	10 以下
	富田支所	0.012	○	
	港陽	0.012	○	
	野跡小学校	0.021	○	
	白水小学校	0.014	○	
	本地通	0.012	○	
	元塩公園	0.015	○	
水銀及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	1.2	○	40 以下
	富田支所	1.5	○	
	港陽	1.8	○	
	白水小学校	2.1	○	
	本地通	1.7	○	
	元塩公園	1.7	○	
ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	1.5	○	25 以下
	富田支所	2.5	○	
	港陽	3.4	○	
	白水小学校	9.6	○	
	本地通	7.0	○	
	元塩公園	5.9	○	

注 指針値の達成状況は、年平均値と指針値との比較により行う。(達成:○、非達成:×)

調査物質	調査地点	年平均値	達成状況	指針値
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.15	○	18 以下
	富田支所	0.16	○	
	港陽	0.17	○	
	野跡小学校	0.18	○	
	白水小学校	0.20	○	
	本地通	0.18	○	
	元塩公園	0.19	○	
1,2-ジクロロ エタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.12	○	1.6 以下
	富田支所	0.13	○	
	港陽	0.12	○	
	野跡小学校	0.13	○	
	白水小学校	0.12	○	
	本地通	0.12	○	
	元塩公園	0.12	○	
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.078	○	2.5 以下
	富田支所	0.056	○	
	港陽	0.057	○	
	野跡小学校	0.069	○	
	白水小学校	0.059	○	
	本地通	0.085	○	
	元塩公園	0.075	○	
ヒ素及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	1.1	○	6 以下
	富田支所	1.0	○	
	港陽	1.2	○	
	白水小学校	1.3	○	
	本地通	1.2	○	
	元塩公園	1.3	○	
マンガン及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	17	○	140 以下
	富田支所	19	○	
	港陽	30	○	
	白水小学校	51	○	
	本地通	33	○	
	元塩公園	33	○	

注 指針値の達成状況は、年平均値と指針値との比較により行う。(達成:○、非達成:×)

調査物質	調査地点	年平均値	達成状況	指針値
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.4	○	94 以下
	富田支所	1.4	○	
	港陽	1.4	○	
	野跡小学校	1.4	○	
	白水小学校	1.3	○	
	本地通	1.4	○	
	元塩公園	1.4	○	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.4	○	120 以下
	富田支所	2.4	○	
	港陽	2.4	○	
	白水小学校	2.0	○	
	本地通	1.9	○	
	元塩公園	2.5	○	

注 指針値の達成状況は、年平均値と指針値との比較により行う。(達成:○、非達成:×)

### (3) 環境基準、指針値が定められていない物質

環境基準、指針値が定められていない物質の各調査地点における調査結果については、以下のとおりである。

#### 環境基準・指針値が定められていない物質の調査結果 (年平均値)

調査物質 調査地点	ホルムアル デヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	酸化 エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	ベンゾ[a] ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	クロム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	ベリリウム 及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	トルエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
会所町	2.2	0.049	0.086	5.0	0.017	8.2
富田支所	3.9	0.046	0.096	5.1	0.014	5.8
港陽	2.8	0.044	0.12	9.3	0.019	5.9
野跡小学校	—	—	—	—	—	5.5
白水小学校	2.9	0.059	0.13	22	0.025	7.4
本地通	2.7	0.052	0.11	11	0.018	7.9
元塩公園	5.0	0.060	0.14	16	0.016	7.4

注 「—」は調査対象外を表す。

## 1 大気汚染常時監視結果

## (1) 調査結果一覧表

ア 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

局種別	区	測定局	有効 測定日数	測定 時間	年平均値	短 期 的 評 価					長 期 的 評 価			1時間値 の 最高値	令和3年度 の 年平均値
						1時間値が0.1ppm を超えた時間数と その割合		日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 とその割合		環境基準 の 達成状況	日平均値 の 2%除外値	日平均値が0.04 ppmを超えた日 が2日以上連続 したことの有無	環境基準 の 達成状況		
						(時間)	(%)	(日)	(%)						
(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・ 非達成×)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)				
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	362	8669	0.001	0	0	0	0	○	0.002	無	○	0.010	0.001
	北区	城北つばさ高校	364	8665	0.000	0	0	0	0	○	0.001	無	○	0.010	0.000
	中川区	八幡中学校	293	7023	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.011	0.001
	南区	白水小学校	363	8649	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.022	0.001
	一般局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
自排局	中区	若宮大通公園	363	8653	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.013	0.001
	自排局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
市内平均			---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001

イ 窒素酸化物 (NOx)

局種別	区	測定局	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )											一酸化窒素 (NO)				窒素酸化物 (NO+NO <sub>2</sub> )					
			有効測定 日数	測定 時間	年平均 値	1時間値 の 最高値	長期的評価			日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 とその割合		日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 とその割合		令和3年度 の 年平均値	年平均 値	1時間値 の 最高値	日平均値 の 年間98%値	令和3年度 の 年平均値	年平均 値	1時間値 の 最高値	日平均値 の 年間98%値	NO <sub>2</sub> (NO+NO <sub>2</sub> ) (年平均値)	令和3年度 の 年平均値
							日平均値 の 年間98%値	達成状況															
								環境 基準	環境 目標値	(達成○・ 非達成×)	(日)	(%)	(日)										
(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(%)	(ppm)						
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	198	4773	(0.007)	0.040	(0.019)	—	—	0	0	0	0	0.008	(0.001)	0.038	(0.003)	0.001	(0.008)	0.072	(0.022)	90.4	0.009
	北区	城北つばさ高校	363	8655	0.011	0.057	0.026	○	○	0	0	0	0	0.012	0.003	0.080	0.011	0.003	0.014	0.122	0.035	80.6	0.014
	中村区	名楽町	365	8678	0.011	0.061	0.026	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.052	0.008	0.002	0.012	0.086	0.031	84.8	0.013
	昭和区	滝川小学校	363	8651	0.010	0.056	0.023	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.062	0.009	0.002	0.011	0.093	0.027	87.1	0.012
	中川区	八幡中学校	295	7043	0.011	0.060	0.028	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.080	0.009	0.002	0.012	0.111	0.036	84.7	0.012
	中川区	富田支所	364	8673	0.010	0.064	0.023	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.061	0.008	0.002	0.011	0.094	0.028	85.5	0.012
	港区	惟信高校	354	8448	0.010	0.068	0.025	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.059	0.006	0.002	0.011	0.107	0.030	86.0	0.012
	南区	白水小学校	363	8654	0.013	0.070	0.029	○	○	0	0	0	0	0.014	0.003	0.096	0.013	0.003	0.017	0.136	0.042	80.6	0.017
	守山区	守山保健センター	299	7133	0.010	0.055	0.022	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.056	0.007	0.002	0.012	0.085	0.028	84.9	0.012
	緑区	大高北小学校	364	8665	0.011	0.058	0.025	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.060	0.008	0.002	0.013	0.102	0.032	84.6	0.013
	天白区	天白保健センター	363	8650	0.010	0.057	0.024	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.066	0.005	0.002	0.011	0.098	0.028	88.2	0.012
		一般局平均		—	—	0.011	—	—	—	—	—	—	—	0.011	0.002	—	—	0.002	0.012	—	—	—	—
自排局	北区	上下水道局北営業所	365	8680	0.014	0.058	0.029	○	○	0	0	0	0	0.015	0.004	0.121	0.013	0.005	0.018	0.151	0.040	75.6	0.020
	西区	名塚中学校	363	8649	0.011	0.055	0.023	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.052	0.008	0.002	0.013	0.086	0.030	83.7	0.013
	中区	若宮大通公園	357	8519	0.014	0.062	0.030	○	○	0	0	0	0	0.014	0.006	0.100	0.016	0.006	0.020	0.158	0.044	71.6	0.020
	熱田区	熱田神宮公園	363	8650	0.012	0.059	0.029	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.068	0.009	0.003	0.015	0.108	0.039	82.1	0.015
	港区	港陽	286	6803	0.012	0.075	0.029	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.096	0.013	0.004	0.015	0.134	0.040	81.0	0.018
	南区	千竈	357	8534	0.013	0.070	0.027	○	○	0	0	0	0	0.014	0.004	0.077	0.010	0.004	0.017	0.109	0.037	76.1	0.017
	南区	元塩公園	363	8629	0.020	0.085	0.038	○	○	0	0	6	1.7	0.020	0.014	0.162	0.041	0.015	0.034	0.202	0.077	57.5	0.035
		自排局平均		—	—	0.014	—	—	—	—	—	—	—	0.014	0.005	—	—	0.006	0.019	—	—	—	—
	市内平均		—	—	0.012	—	—	—	—	—	—	—	0.012	0.003	—	—	0.003	0.015	—	—	—	—	0.015

注 令和4年度の国設名古屋大気環境測定所については、年間測定時間が6000時間未満で有効測定局ではないため( )としている。また、一般局平均及び市内平均の対象としていない。

ウ 一酸化炭素 (CO)

局種別	区	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価			1時間値の最高値	令和3年度の年平均値
						8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		環境基準の達成状況	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況		
						(回数)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(ppm)	(達成○・非達成×)			
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	362	8672	0.2	0	0	0	0	○	0.4	無	○	1.2	0.2
	一般局平均		---	---	0.2	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
自排局	南区	元塩公園	365	8655	0.3	0	0	0	0	○	0.5	無	○	2.0	0.3
	自排局平均		---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
市内平均			---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.3

エ 浮遊粒子状物質 (S P M)

局種別	区	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価				長期的評価			環境目標値 (快適な生活環境の確保に係る目標値) 年平均値 0.015mg/m <sup>3</sup> 以下の達成状況	1時間値の最高値	令和3年度の年平均値	
						1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		環境基準・環境目標値 (市民の健康の保護に係る目標値) の達成状況	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無				環境基準・環境目標値 (市民の健康の保護に係る目標値) の達成状況
						(時間)	(%)	(日)	(%)							
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	361	8691	0.011	0	0	0	0	○	0.024	無	○	○	0.065	0.011
	北区	城北つばさ高校	363	8710	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.061	0.013
	中村区	名楽町	363	8706	0.015	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.093	0.014
	昭和区	滝川小学校	361	8673	0.013	0	0	0	0	○	0.027	無	○	○	0.081	0.014
	中川区	八幡中学校	274	6664	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.056	0.014
	中川区	富田支所	361	8686	0.013	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.067	0.012
	港区	惟信高校	363	8712	0.012	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.053	0.015
	南区	白水小学校	363	8714	0.016	0	0	0	0	○	0.031	無	○	×	0.058	0.014
	守山区	守山保健センター	363	8693	0.009	0	0	0	0	○	0.020	無	○	○	0.052	0.011
	緑区	大高北小学校	362	8702	0.015	0	0	0	0	○	0.031	無	○	○	0.076	0.015
	天白区	天白保健センター	362	8695	0.010	0	0	0	0	○	0.025	無	○	○	0.079	0.010
	一般局平均			---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
自排局	北区	上下水道局北営業所	363	8709	0.012	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.059	0.013
	西区	名塚中学校	363	8704	0.016	0	0	0	0	○	0.032	無	○	×	0.104	0.014
	中区	若宮大通公園	360	8663	0.014	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.059	0.013
	熱田区	熱田神宮公園	363	8693	0.011	0	0	0	0	○	0.023	無	○	○	0.054	0.010
	港区	港陽	363	8712	0.015	0	0	0	0	○	0.031	無	○	○	0.063	0.015
	南区	千竈	363	8716	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.088	0.014
	南区	元塩公園	363	8676	0.012	0	0	0	0	○	0.024	無	○	○	0.069	0.011
自排局平均			---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.013
市内平均			---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.013

オ 光化学オキシダント (Ox)

局種別	区	測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	短期的評価					昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数及び時間数とその割合				昼間の1時間値の最高値	令和3年度の昼間年平均値
						昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間数とその割合				環境基準・環境目標値の達成状況	(日)	(%)	(時間)	(%)		
						(日)	(%)	(時間)	(%)							
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	365	5441	0.037	90	24.7	476	8.7	×	0	0	0	0	0.106	0.034
	北区	城北つばさ高校	365	5425	0.033	72	19.7	339	6.2	×	0	0	0	0	0.097	0.035
	中村区	名楽町	365	5423	0.033	70	19.2	322	5.9	×	0	0	0	0	0.102	0.035
	昭和区	滝川小学校	365	5418	0.033	73	20.0	341	6.3	×	0	0	0	0	0.098	0.034
	中川区	八幡中学校	298	4400	0.034	56	18.8	277	6.3	×	0	0	0	0	0.092	0.033
	中川区	富田支所	360	5327	0.032	57	15.8	224	4.2	×	0	0	0	0	0.093	0.033
	港区	惟信高校	365	5426	0.032	62	17.0	249	4.6	×	0	0	0	0	0.095	0.034
	南区	白水小学校	365	5437	0.031	56	15.3	224	4.1	×	0	0	0	0	0.093	0.033
	守山区	守山保健センター	365	5423	0.034	82	22.5	389	7.2	×	0	0	0	0	0.104	0.035
	緑区	大高北小学校	365	5428	0.033	77	21.1	333	6.1	×	0	0	0	0	0.110	0.035
	天白区	天白保健センター	363	5384	0.033	59	16.3	277	5.1	×	0	0	0	0	0.094	0.033
		一般局平均		---	---	0.033	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
自排局	西区	名塚中学校	357	5271	0.033	76	21.3	347	6.6	×	0	0	0	0	0.103	0.033
	中区	若宮大通公園	365	5426	0.028	48	13.2	184	3.4	×	0	0	0	0	0.089	0.031
	港区	港陽	363	5376	0.030	53	14.6	224	4.2	×	0	0	0	0	0.095	0.033
		自排局平均		---	---	0.030	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	市内平均		---	---	0.033	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.034



カ 炭化水素（HC）

(ア) 非メタン炭化水素

局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		6～9時3時間平均 値が0.20ppmCを超 えた日数とその割合		6～9時3時間平均 値が0.31ppmCを超 えた日数とその割合		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値 (ppmC)
							最高値	最低値	(日)	(%)	(日)	(%)	
							(ppmC)	(ppmC)	(日)	(%)	(日)	(%)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	0.11	0.12	360	0.33	0.01	39	10.8	2	0.6	0.13
	中川区	富田支所	8314	0.13	0.15	363	0.46	0.02	78	21.5	20	5.5	0.15
	一般局平均		---	0.12	0.14	---	---	---	---	---	---	---	0.14
自排局	南区	元塩公園	8353	0.15	0.17	363	0.55	0.02	101	27.8	33	9.1	0.20
	自排局平均		---	0.15	0.17	---	---	---	---	---	---	---	0.20
市内平均			---	0.13	0.15	---	---	---	---	---	---	---	0.16

(イ) メタン

局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値 (ppmC)
							最高値	最低値	
							(ppmC)	(ppmC)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	2.02	2.04	360	2.26	1.88	2.04
	中川区	富田支所	8314	2.04	2.07	363	2.54	1.90	2.03
	一般局平均		---	2.03	2.06	---	---	---	2.04
自排局	南区	元塩公園	8353	2.02	2.04	363	2.37	1.85	2.03
	自排局平均		---	2.02	2.04	---	---	---	2.03
市内平均			---	2.03	2.05	---	---	---	2.03

(ウ) 全炭化水素

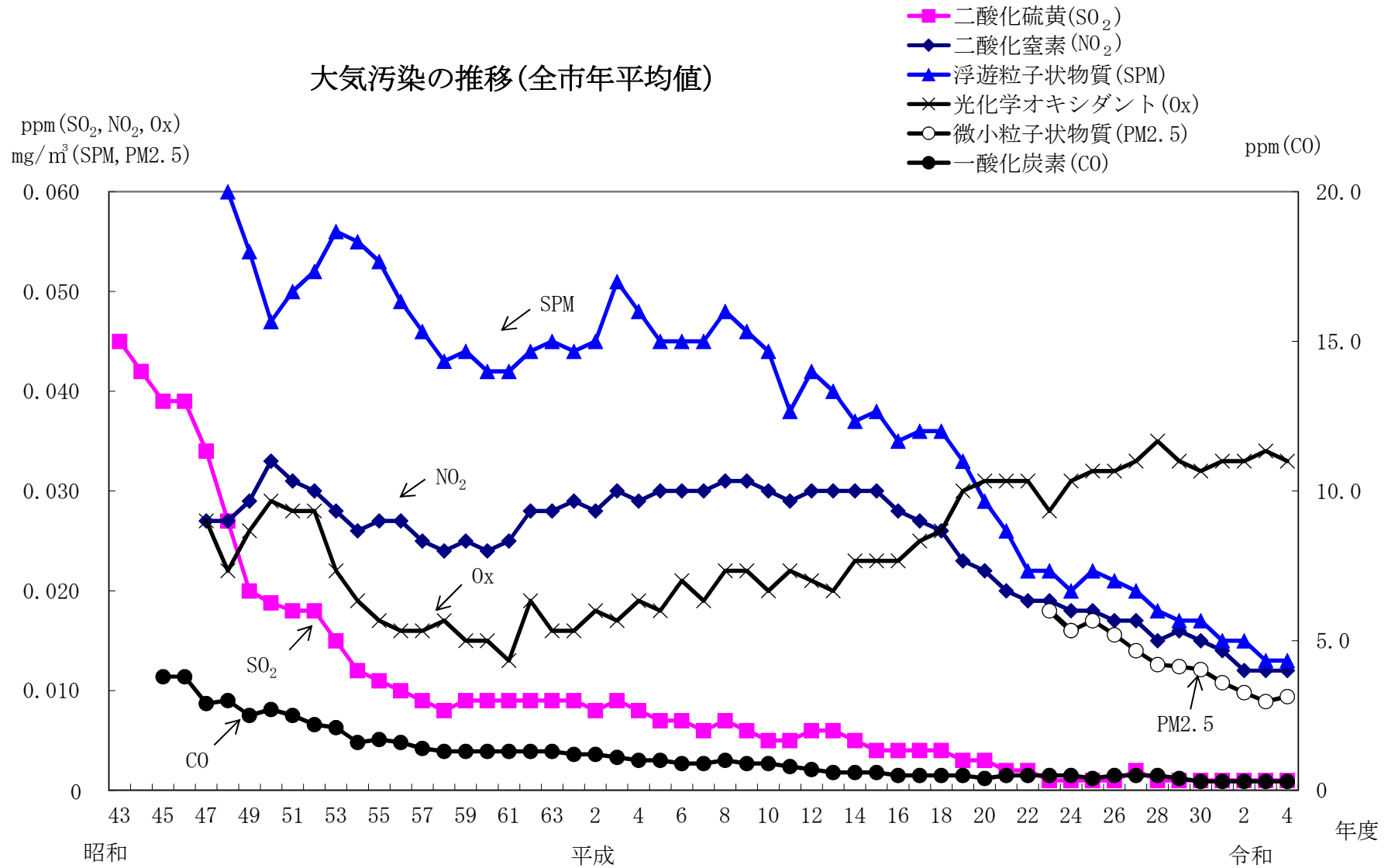
局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値 (ppmC)
							最高値	最低値	
							(ppmC)	(ppmC)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	2.13	2.16	360	2.53	1.94	2.16
	中川区	富田支所	8314	2.17	2.22	363	2.74	1.97	2.18
	一般局平均		---	2.15	2.19	---	---	---	2.17
自排局	南区	元塩公園	8353	2.16	2.20	363	2.71	1.93	2.23
	自排局平均		---	2.16	2.20	---	---	---	2.23
市内平均			---	2.15	2.19	---	---	---	2.19

キ 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

局種別	区	測定局	有効測定日数	長期的評価							令和3年度の年平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
				短期基準			長期基準		環境基準・環境目標値の達成状況		
				1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数とその割合	1日平均 値の年間 98パーセン タイル値	短期基準 との比較	年平均値	長期基準 との比較			
				(日)	(%)	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	(達成○・ 非達成×)	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	(達成○・ 非達成×)	(達成○・ 非達成×)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	359	0	0.0	20.5	○	9.4	○	○	9.0
	北区	城北つばさ高校	363	0	0.0	20.3	○	8.9	○	○	7.9
	中村区	名楽町	365	0	0.0	18.7	○	8.1	○	○	7.4
	昭和区	滝川小学校	354	0	0.0	19.5	○	8.9	○	○	8.7
	中川区	八幡中学校	293	0	0.0	23.6	○	11.0	○	○	9.4
	中川区	富田支所	297	0	0.0	20.8	○	8.5	○	○	9.2
	港区	惟信高校	363	0	0.0	21.6	○	8.9	○	○	9.1
	南区	白水小学校	364	0	0.0	21.6	○	10.0	○	○	8.7
	守山区	守山保健センター	365	0	0.0	20.3	○	9.3	○	○	8.9
	緑区	大高北小学校	362	0	0.0	19.7	○	9.3	○	○	8.7
	天白区	天白保健センター	365	0	0.0	19.2	○	8.8	○	○	8.5
	一般局平均		---	---	---	---	---	9.2	---	---	8.7
自排局	北区	上下水道局北営業所	362	0	0.0	20.1	○	8.6	○	○	9.5
	西区	名塚中学校	363	0	0.0	20.7	○	9.3	○	○	8.3
	中区	若宮大通公園	365	0	0.0	20.0	○	9.2	○	○	8.4
	熱田区	熱田神宮公園	363	0	0.0	19.4	○	8.5	○	○	7.8
	港区	港陽	363	0	0.0	22.7	○	10.0	○	○	10.3
	南区	千竈	363	0	0.0	23.3	○	10.8	○	○	10.1
	南区	元塩公園	363	0	0.0	22.9	○	11.2	○	○	10.7
	自排局平均		---	---	---	---	---	9.7	---	---	9.3
	市内平均		---	---	---	---	---	9.4	---	---	8.9

(2) 年平均値の推移

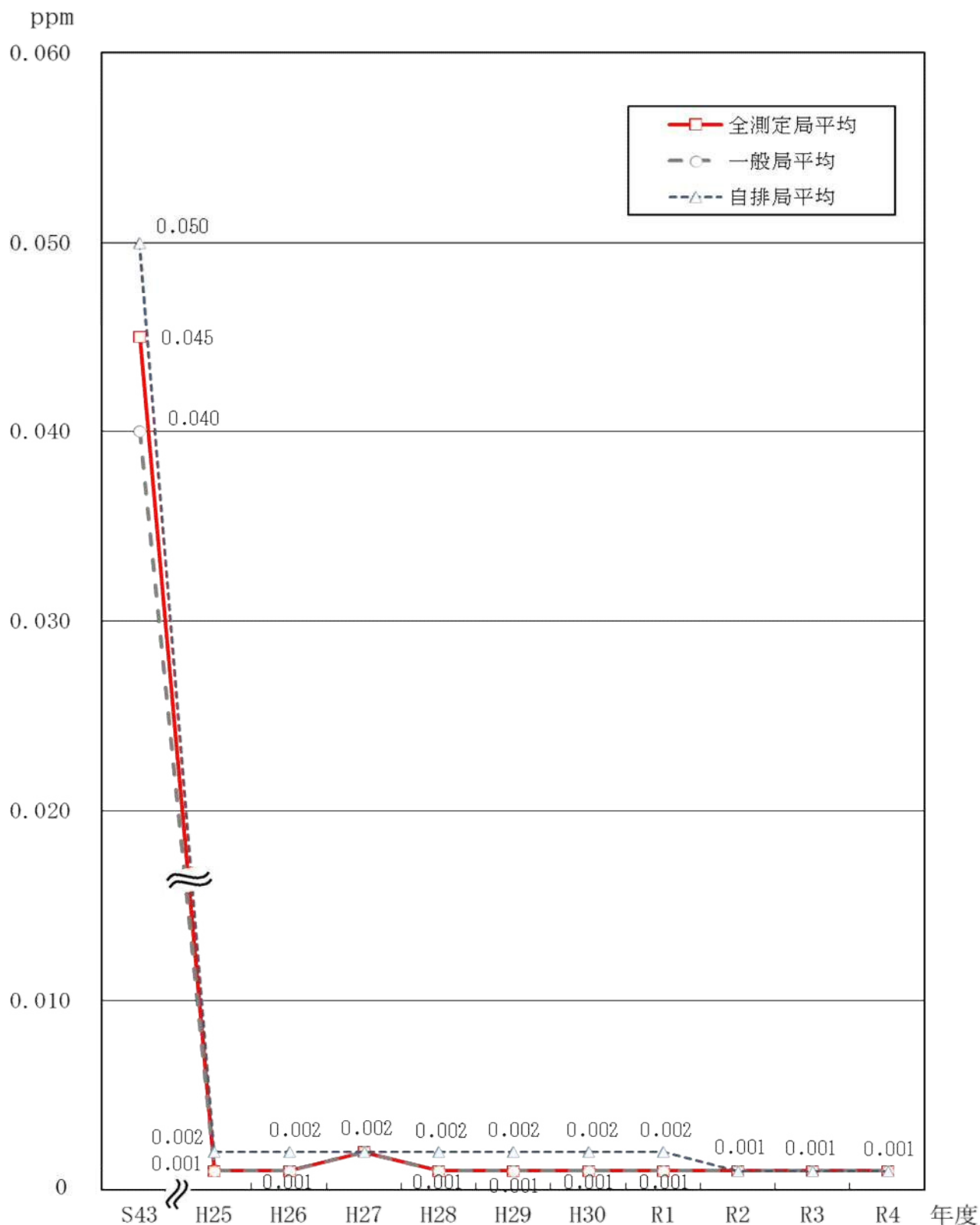
ア 大気汚染の推移(全市年平均値)



イ 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和 43 年をピークに大幅に改善され、過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 3 年度と比較しても横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 0.001ppm であった。一般局平均は 0.001ppm、自排局は 0.001ppm であった。

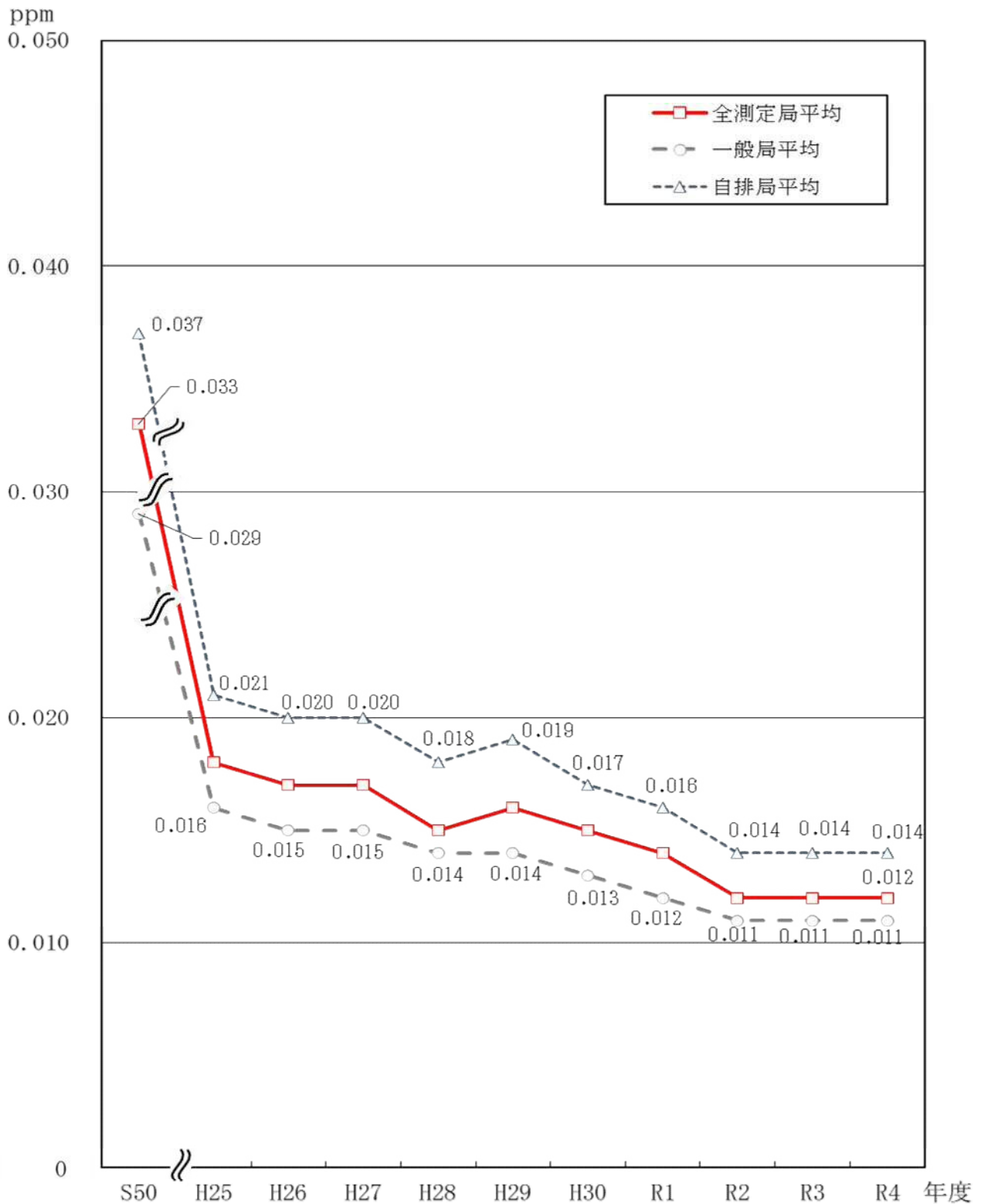


ウ 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

(ア) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和 50 年度をピークにその後改善を示し、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

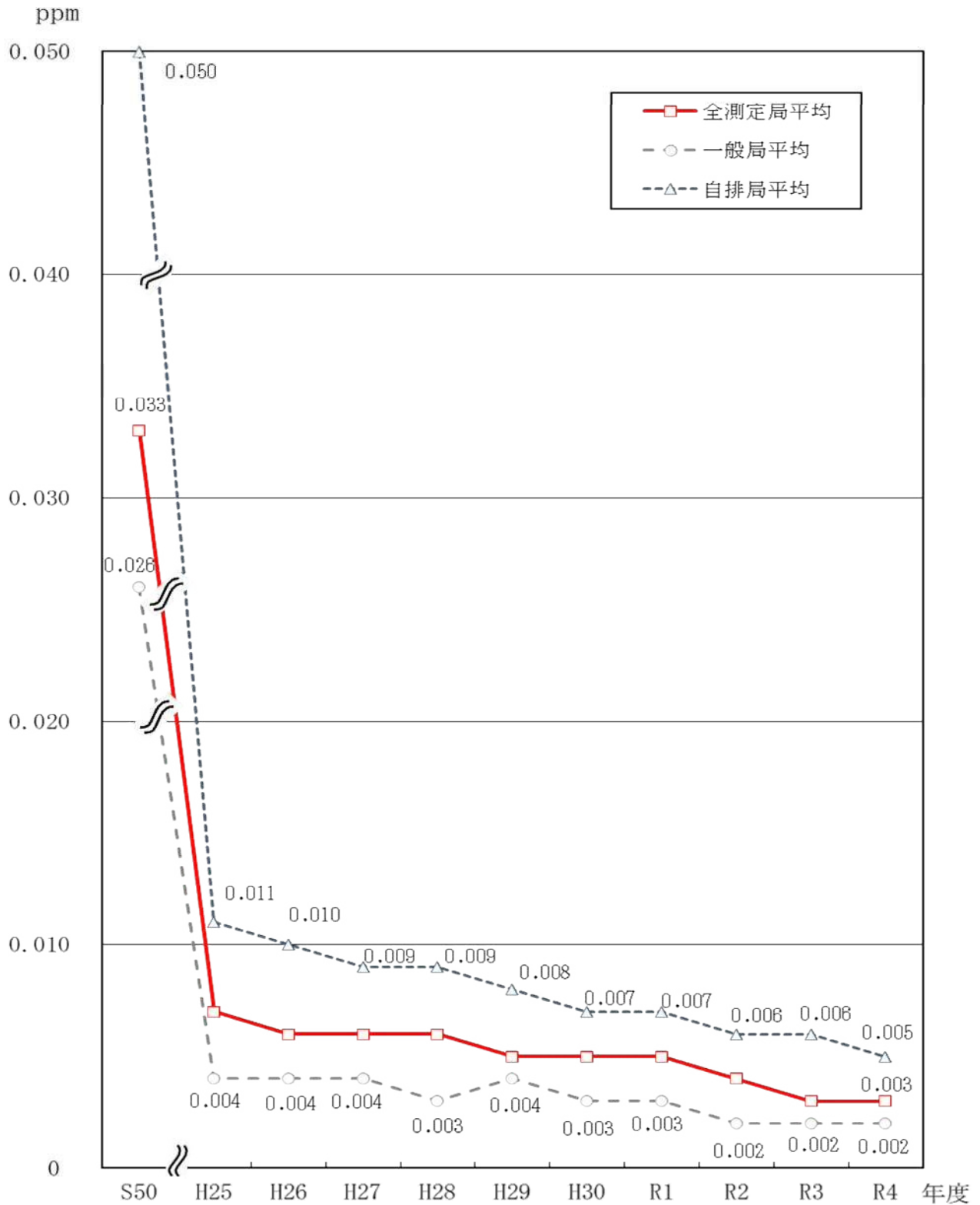
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.012ppm であった。一般局平均は 0.011ppm、自排局平均は 0.014ppm であった。



(イ) 一酸化窒素 (NO)

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 50 年度をピークにその後改善を示し、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

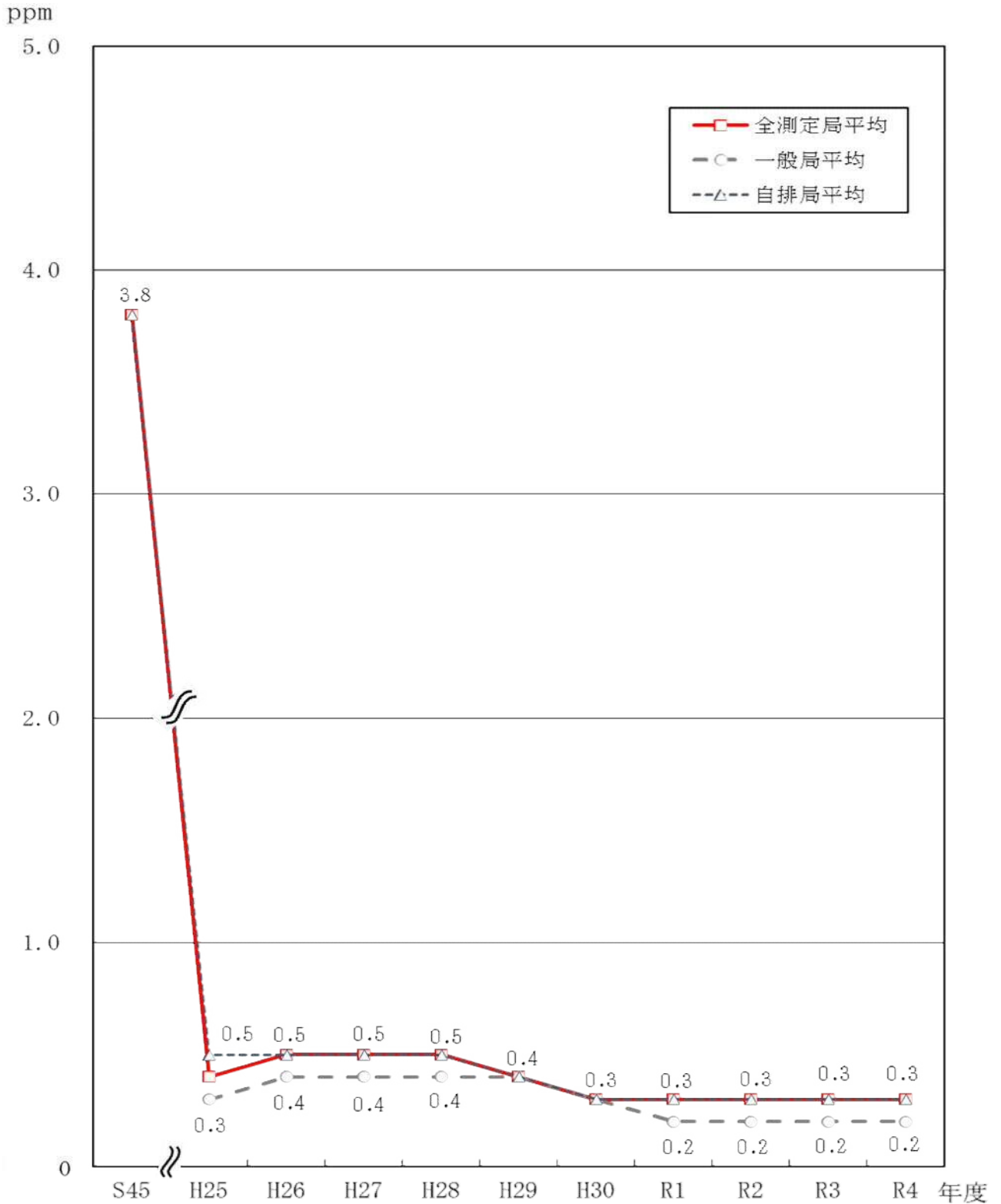
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.003ppm であった。一般局平均は 0.002ppm、自排局平均は 0.005ppm であった。



エ 一酸化炭素（CO）

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和45年度をピークにその後改善を示した。過去10年間の推移をみると横ばいで、令和3年度と比較しても横ばいである。

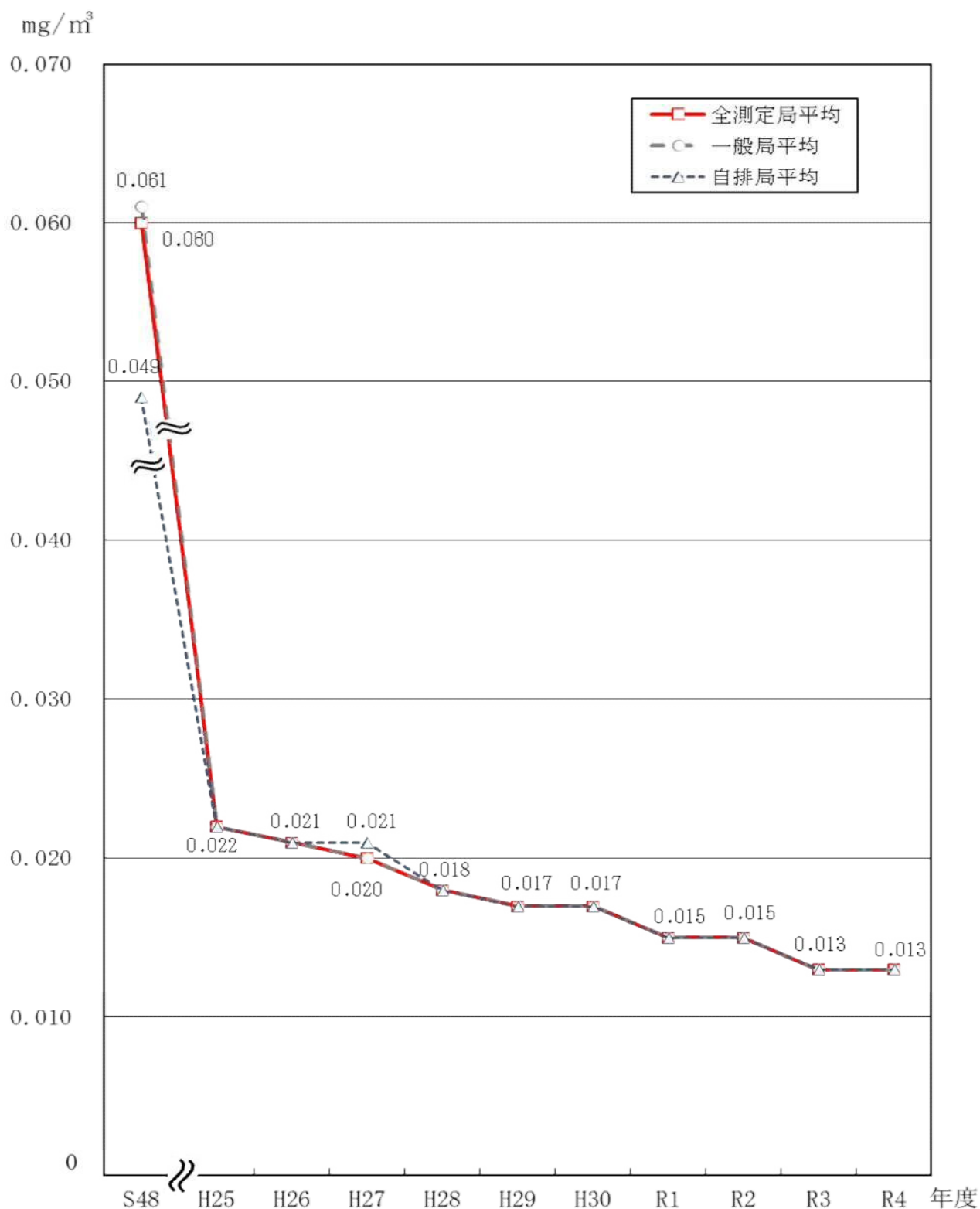
令和4年度は、全測定局平均で0.3ppmであった。一般局は0.2ppm、自排局は0.3ppmであった。



### オ 浮遊粒子状物質（SPM）

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和48年度をピークにその後改善を示した。過去10年間の推移をみると減少傾向で、令和3年度と比較すると横ばいである。

令和4年度は、全測定局平均で0.013 mg/m<sup>3</sup>であった。一般局平均は0.013 mg/m<sup>3</sup>、自排局平均は0.013 mg/m<sup>3</sup>であった。

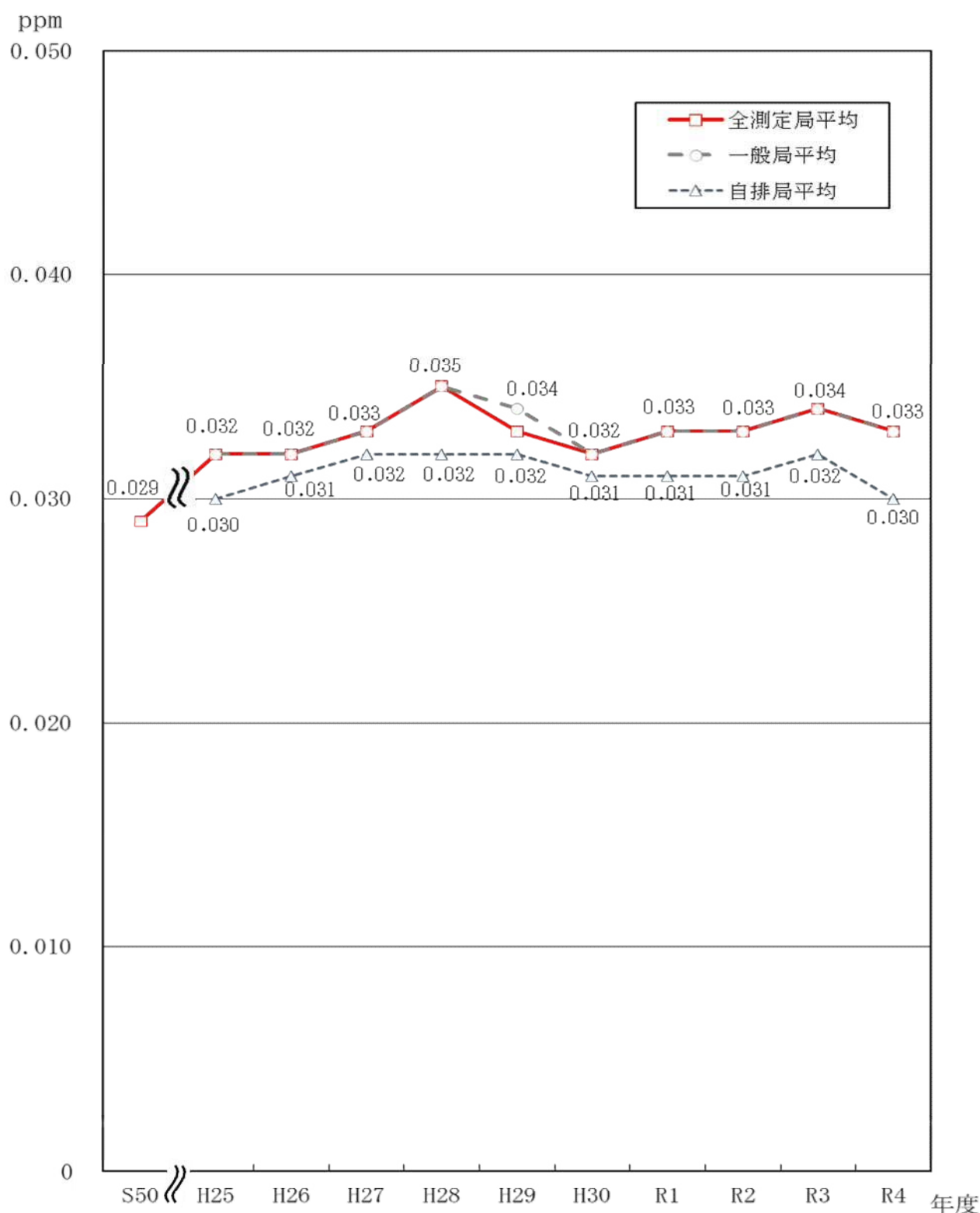




カ 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

全測定局の昼間 (5~20 時) の年平均値の平均で見ると、昭和 50 年度からいったん改善を示したが、再び増加傾向 (31 ページグラフ参照) となった。過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 3 年度と比較しても横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 0.033ppm であった。一般局平均は 0.033ppm、自排局平均は 0.030ppm であった。



参考1 令和2年の環境目標値改正時に、当面の目標として令和12年度までに「昼間（5時～20時）の1時間値が0.06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」と設定している。

この指標による各測定局の経年変化は以下のとおりである。

単位：時間

測定局名		年度									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般局	国設名古屋大気環境測定所	622	393	521	618	542	398	506	381	360	476
	城北つばさ高校	401	368	482	431	454	317	432	<b>294</b>	425	339
	名楽町	<b>249</b>	478	459	510	494	360	388	346	336	322
	滝川小学校	512	588	659	814	410	325	556	394	<b>232</b>	341
	八幡中学校	482	486	429	427	360	314	<b>274</b>	<b>243</b>	<b>208</b>	<b>277</b>
	富田支所	410	462	501	438	492	362	358	311	<b>229</b>	<b>224</b>
	惟信高校	313	395	378	384	357	<b>300</b>	330	<b>294</b>	302	<b>249</b>
	白水小学校	<b>222</b>	315	<b>272</b>	351	370	<b>221</b>	<b>281</b>	<b>244</b>	<b>205</b>	<b>224</b>
	守山保健センター	347	564	587	612	571	331	523	459	415	389
	大高北小学校	426	518	470	484	455	317	469	328	327	333
	天白保健センター	392	442	369	486	315	369	426	328	<b>166</b>	<b>277</b>
自排局	名塚中学校	329	460	362	410	375	337	391	322	<b>270</b>	347
	テレビ塔	<b>146</b>	<b>276</b>	347	345	317	<b>245</b>	—	—	—	—
	若宮大通公園	—	—	—	—	—	—	<b>263</b>	<b>245</b>	<b>207</b>	<b>184</b>
	港陽	<b>226</b>	<b>293</b>	<b>293</b>	332	317	<b>230</b>	<b>230</b>	<b>248</b>	<b>217</b>	<b>224</b>
市内平均 (時間数/14局)		363	431	438	474	416	316	388	317	<b>279</b>	<b>300</b>
300時間以下の局数		4/14	2/14	2/14	0/14	0/14	4/14	4/14	6/14	8/14	7/14

注1 太字ゴシックは、300時間以下を示す。

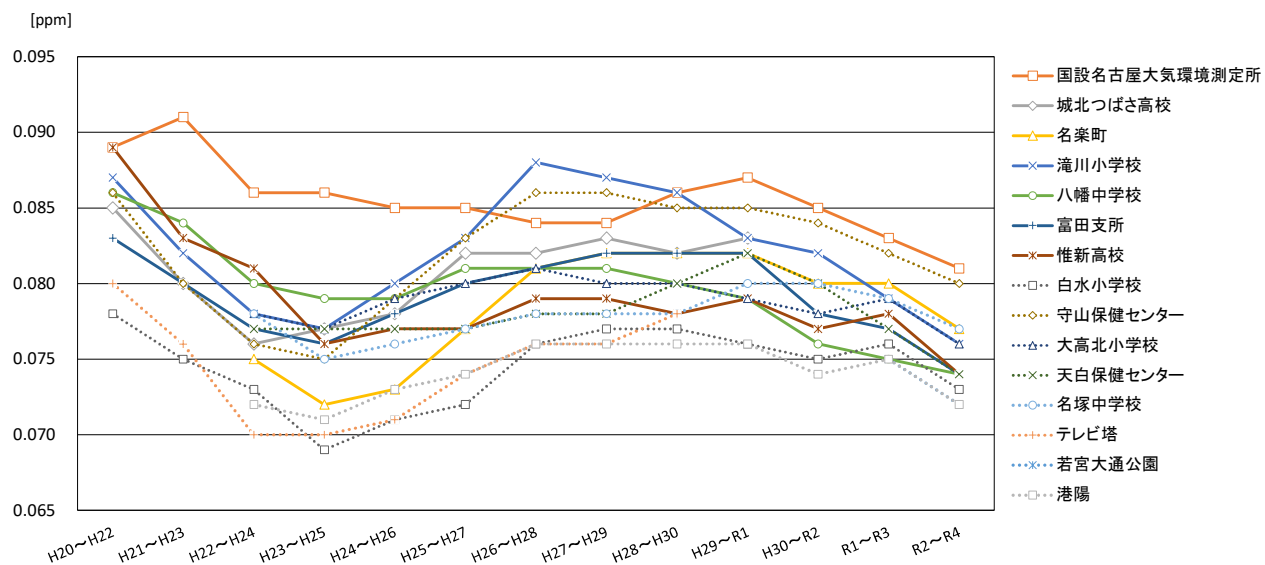
注2 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止した。

注3 若宮大通公園測定局は、平成31年4月1日から測定を開始した。

参考2 光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標を用いた評価

環境改善効果を適切に示す指標として、平成26年9月26日環境省より「光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標(中間とりまとめ)」が示された。

この指標(日最高8時間値の年間99パーセンタイル値の3年移動平均値)による各測定局の経年変化は以下のとおりである。



測定局	年度	H20~H22	H21~H23	H22~H24	H23~H25	H24~H26	H25~H27	H26~H28	H27~H29	H28~H30	H29~R1	H30~R2	R1~R3	R2~R4
一般局	国設名古屋	0.089	0.091	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.084	0.086	0.087	0.085	0.083	0.081
	城北つばさ高校	0.085	0.080	0.076	0.077	0.078	0.082	0.082	0.083	0.082	0.083	-	-	-
	名楽町	-	-	0.075	0.072	0.073	0.077	0.081	0.082	0.082	0.082	0.080	0.080	0.077
	滝川小学校	0.087	0.082	0.078	0.077	0.080	0.083	0.088	0.087	0.086	0.083	0.082	0.079	0.076
	八幡中学校	0.086	0.084	0.080	0.079	0.079	0.081	0.081	0.081	0.080	0.079	0.076	0.075	0.074
	富田支所	0.083	0.080	0.077	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.082	0.078	0.077	0.074
	惟信高校	0.089	0.083	0.081	0.076	0.077	0.077	0.079	0.079	0.078	0.079	0.077	0.078	0.074
	白水小学校	0.078	0.075	0.073	0.069	0.071	0.072	0.076	0.077	0.077	0.076	0.076	0.075	0.073
	守山保健センター	0.086	0.080	0.076	0.075	0.079	0.083	0.086	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.082
	大高北小学校	-	-	0.078	0.077	0.079	0.080	0.081	0.080	0.080	0.080	0.079	0.078	0.079
天白保健センター	-	-	0.077	0.077	0.077	0.077	0.078	0.078	0.080	0.082	0.080	0.077	0.074	
一般局平均		0.085	0.082	0.078	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.081	0.080	0.079	0.076
自排局	名塚中学校	-	-	0.078	0.075	0.076	0.077	0.078	0.078	0.078	0.080	0.080	0.079	0.077
	テレビ塔	0.080	0.076	0.070	0.070	0.071	0.074	0.076	0.076	0.078	-	-	-	-
	若宮大通公園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.075	0.072
	港陽	-	-	0.07	0.071	0.073	0.074	0.076	0.076	0.076	0.076	0.076	0.075	0.072
自排局平均		0.080	0.076	0.073	0.072	0.073	0.075	0.077	0.077	0.077	0.078	0.077	0.076	0.074
全市平均		0.085	0.081	0.077	0.075	0.077	0.079	0.080	0.081	0.081	0.081	0.079	0.078	0.075

注1 名楽町、大高北小学校、天白保健センター、名塚中学校及び港陽は平成22年4月1日から、若宮大通公園は平成31年4月1日から測定を開始した。

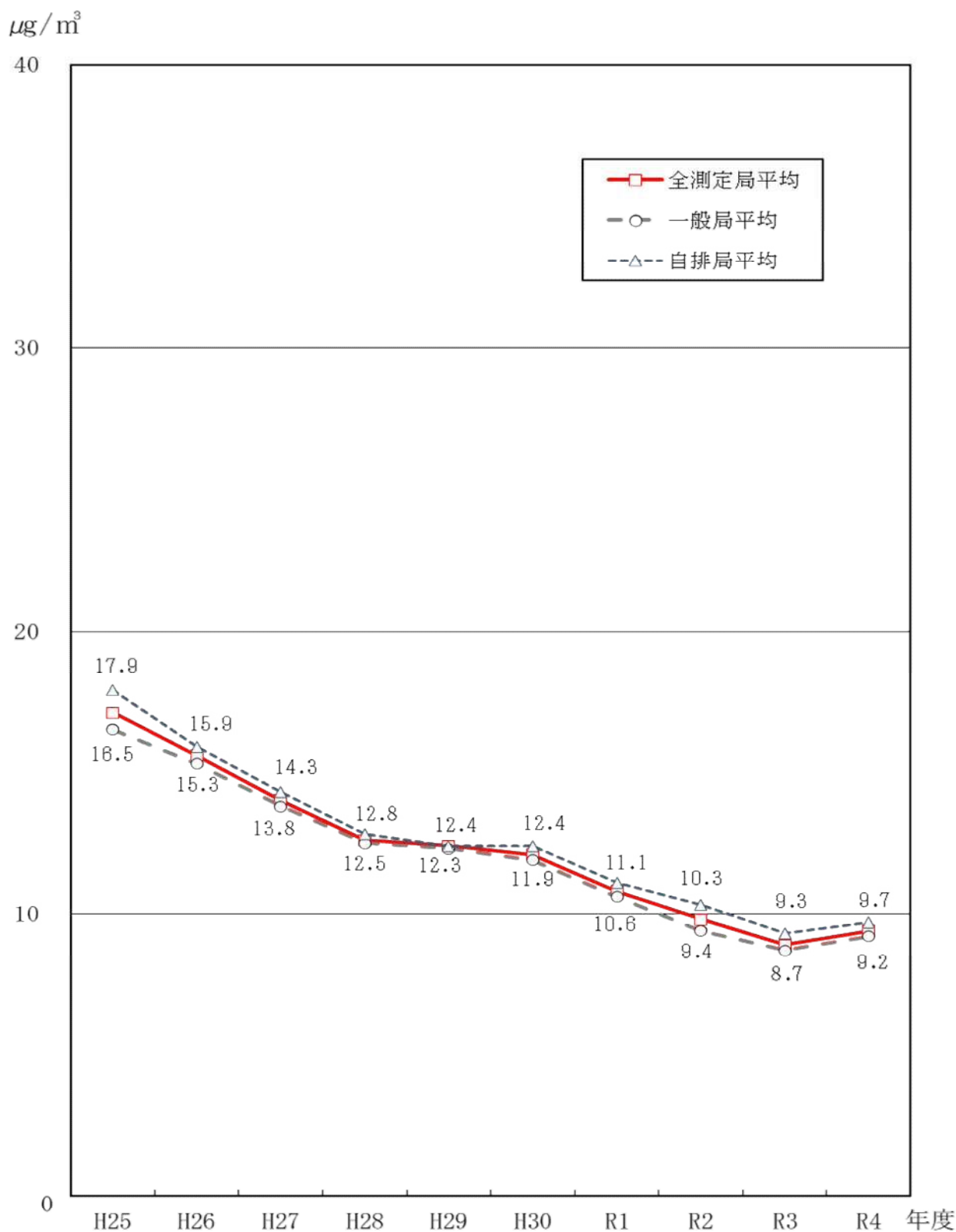
注2 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止した。

注3 令和2年度における城北つばさ高校は日最高8時間値の有効測定日数が250日に満たないため、算出対象としていない。

キ 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

全測定局の年平均値の平均について、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 9.4  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。一般局平均は 9.2  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局平均は 9.7  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。



### (3) 大気汚染物質の経年変化

#### ア 全測定局の経年変化

項目		年度	S 4 8	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)		0.027	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		3/17	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	4/4	5/5	5/5	
	(達成率 %)		( 18)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.027	0.018	0.017	0.017	0.015	0.016	0.015	0.014	0.012	0.012	0.012	
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/10	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	17/17
		(達成率 %)	( 70)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.038	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004	0.003	0.003
		測定局数	10	18	18	17	18	18	18	18	18	17	18	17
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)	0.064	0.025	0.024	0.023	0.021	0.021	0.019	0.018	0.018	0.016	0.015	0.015
測定局数		10	18	18	17	18	18	18	18	18	17	18	17	
一酸化炭素	年平均値 (ppm)		3.0	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		9/ 9	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.060	0.022	0.021	0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		2/16	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	
	(達成率 %)		( 13)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	18/18	18/18	15/18	18/18	16/18	16/18	18/18	18/18	18/18	18/18	
	(達成率 %)			(100)	(100)	( 83)	(100)	( 89)	( 89)	(100)	(100)	(100)	(100)	
光化学オキシダント	昼間(5～20時)の 年平均値 (ppm)		0.022	0.032	0.032	0.033	0.035	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		0/10	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	
	(達成率 %)		( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	
炭化水素	非メタン炭化水素	6～9時における 年平均値 (ppmC)	----	0.18	0.16	0.18	0.16	0.18	0.18	0.17	0.15	0.16	0.15	
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	メタン	6～9時における 年平均値 (ppmC)	----	1.95	1.95	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.00	2.03	2.05	
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m <sup>3</sup> )		----	17.1	15.6	14.0	12.6	12.4	12.1	10.8	9.8	8.9	9.4	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		----	0/13	3/17	15/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	
	(達成率 %)		----	( 0)	( 18)	( 83)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	

注1 年平均値は、全測定局のうち有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

注3 二酸化窒素の環境基準達成局の割合のうち昭和48年度は、新ザルツマン係数による補正を加え現行の環境基準（昭和53年環境庁告示第38号）に対比したものである。

注4 光化学オキシダントの年平均値のうち、昭和48年度は全日における年平均値である。

注5 炭化水素は、昭和51年に光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針が示され、午前6～9時における年平均値が算出されるようになったため、それ以前である昭和48年度については算出していない。

イ 一般環境大気測定局の経年変化

項目		年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	
二酸化硫黄	年平均値(ppm)		0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	3/3	4/4	4/4	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値(ppm)	0.016	0.015	0.015	0.014	0.014	0.013	0.012	0.011	0.011	0.011	
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	10/10
		(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	一酸化窒素	年平均値(ppm)	0.004	0.004	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
		測定局数	11	11	10	11	11	11	11	11	10	11	10
		窒素酸化物	年平均値(ppm)	0.020	0.019	0.019	0.017	0.018	0.016	0.015	0.013	0.013	0.012
測定局数		11	11	10	11	11	11	11	10	10	10		
一酸化炭素	年平均値(ppm)		0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
浮遊粒子状物質	年平均値(mg/m <sup>3</sup> )		0.022	0.021	0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		11/11	11/11	10/11	11/11	10/11	9/11	11/11	11/11	11/11	11/11	
	(達成率 %)		(100)	(100)	( 91)	(100)	( 91)	( 82)	(100)	(100)	(100)	(100)	
光化学オキシダント	昼間(5~20時)の 年平均値(ppm)		0.032	0.032	0.033	0.035	0.034	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	
	(達成率 %)		( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	
炭化水素	非メタン炭化水素	6~9時における 年平均値(ppmC)	0.15	0.14	0.15	0.13	0.15	0.16	0.14	0.13	0.14	0.14	
		測定局数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	メタン	6~9時における 年平均値(ppmC)	1.95	1.95	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.01	2.04	2.06	
		測定局数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
微小粒子状物質	年平均値(μg/m <sup>3</sup> )		16.5	15.3	13.8	12.5	12.3	11.9	10.6	9.4	8.7	9.2	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		0/7	1/10	9/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11	
	(達成率 %)		( 0)	( 10)	( 82)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

ウ 自動車排出ガス測定局の経年変化

項目		年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
二酸化硫黄	年平均値(ppm)		0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値(ppm)	0.021	0.020	0.020	0.018	0.019	0.017	0.016	0.014	0.014	0.014
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
		(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値(ppm)	0.011	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005
		測定局数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	窒素酸化物	年平均値(ppm)	0.032	0.031	0.029	0.027	0.027	0.024	0.023	0.021	0.020	0.019
測定局数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
一酸化炭素	年平均値(ppm)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
浮遊粒子状物質	年平均値(mg/m <sup>3</sup> )	0.022	0.021	0.021	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	7/7	7/7	5/7	7/7	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	(100)	(100)	( 71)	(100)	( 86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
光化学オキシダント	昼間(5～20時)の 年平均値(ppm)	0.030	0.031	0.032	0.032	0.032	0.031	0.031	0.031	0.032	0.030	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	
	(達成率 %)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	
炭化水素	非メタン炭化水素	6～9時における 年平均値(ppmC)	0.23	0.22	0.23	0.22	0.23	0.23	0.22	0.20	0.20	0.17
		測定局数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	メタン	6～9時における 年平均値(ppmC)	1.95	1.96	1.97	1.98	1.99	1.99	2.00	1.99	2.03	2.04
		測定局数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
微小粒子状物質	年平均値(μg/m <sup>3</sup> )	17.9	15.9	14.3	12.8	12.4	12.4	11.1	10.3	9.3	9.7	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	0/6	2/7	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	( 0)	( 29)	( 86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

## (4) 気象項目測定結果

測定局		年平均 風速 (m/s)	年間 最多 風向	年平均 温度 (°C)	年平均 湿度 (%)	年間合計 <sup>注1</sup> 紫外線量 (mWh/m <sup>2</sup> )
一般環境 測定局	城北つばさ高校	2.3	NW	—	—	—
	名 楽 町	2.1	NW	—	—	—
	滝 川 小 学 校	1.2	NW	—	—	—
	八 幡 中 学 校	2.5 <sup>注2</sup>	NW	—	—	—
	富 田 支 所	2.7	NNW	17.9	64.4	—
	惟 信 高 校	2.9 <sup>注3</sup>	NW	—	—	—
	白 水 小 学 校	2.1	NNW	—	—	—
	守山保健センター	2.4	NNW	—	—	—
	大 高 小 学 校	2.5	NW	—	—	—
	天白保健センター	2.8	NNW	—	—	7165.54
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	1.7	NNW	—	—	—
	名 塚 中 学 校	1.4	WNW	—	—	—
	若 宮 大 通 公 園	0.7	WNW	17.8	64.6	—
	熱 田 神 宮 公 園	1.0	NW	—	—	—
	港 陽	2.7	NW	—	—	—
	千 竈	1.3	N	—	—	—
	元 塩 公 園	0.9	NW	—	—	—

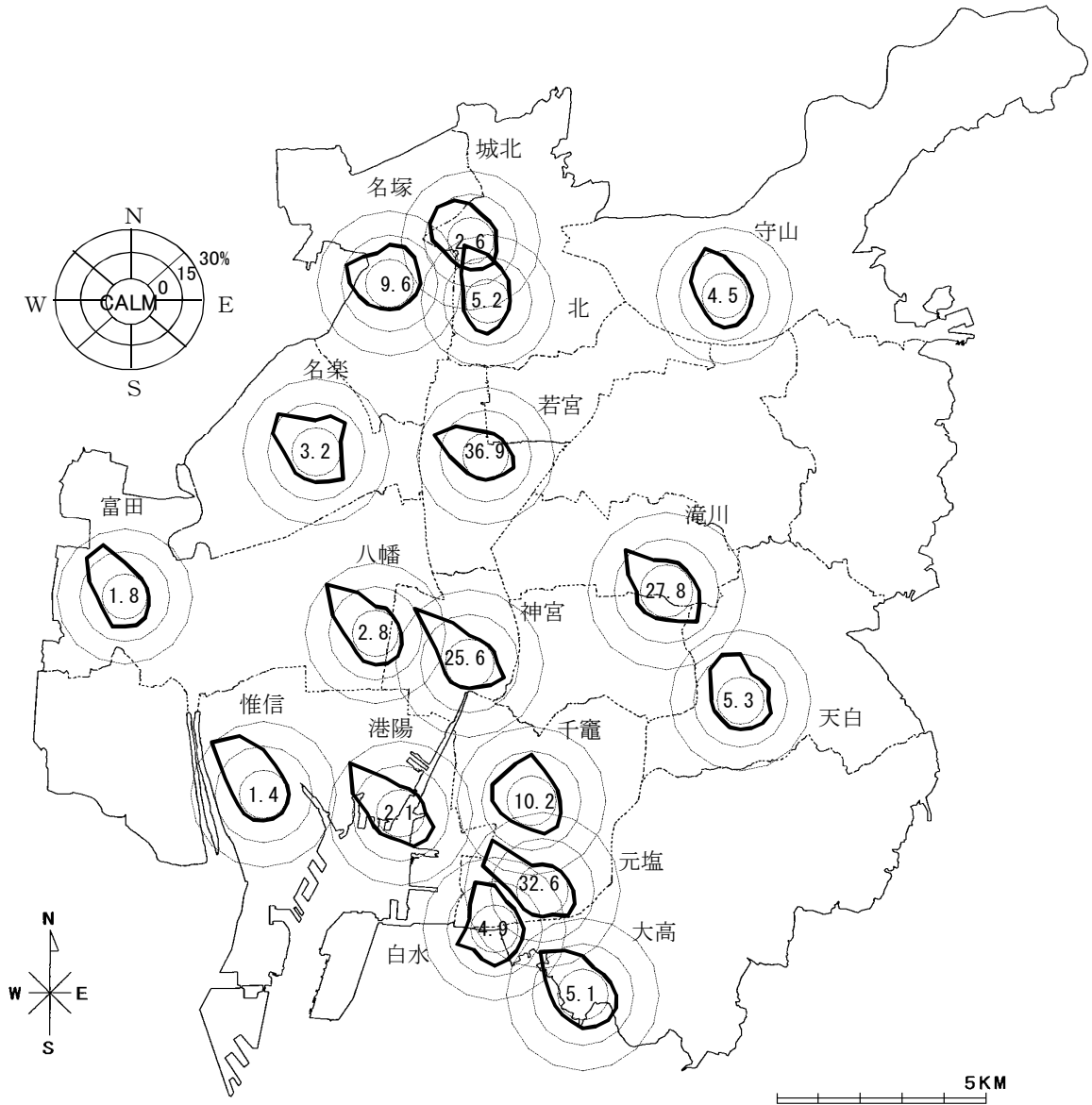
注1 紫外線は、A波（波長315～400nm）を測定している。

注2 八幡中学校測定局の風向風速計は、付近工事の影響で令和4年8月25日から11月1日まで欠測で、当該期間を除いたデータである。

注3 惟信高校測定局の風向風速計は、落雷の影響により令和3年7月12日から令和4年10月20日まで故障中で、それ以降のデータである。



## 風配図分布図



注1 円内の数値は、CALMの割合をパーセントで示す。

注2 CALMとは、風速0.4m/sec以下の状態を示す。

注3 八幡中学校測定局の風向風速計は、付近工事の影響で令和4年8月25日から11月1日まで欠測で、当該期間を除いたデータである。

注4 惟信高校測定局の風向風速計は、落雷の影響により令和3年7月12日から令和4年10月20日まで故障中で、それ以降のデータである。

## 2 有害大気汚染物質等モニタリング結果

### (1) 環境基準が定められている物質

#### ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	環境基準
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.75	0.73	0.55	0.53	0.42	0.54	0.45	1.2	0.91	1.3	0.73	0.79	0.74	0.42	1.3	3 以下
	富田支所	0.70	0.63	0.45	0.41	0.30	0.52	0.42	1.3	0.88	1.0	0.66	0.74	0.67	0.30	1.3	
	港陽	0.73	0.63	0.71	0.49	0.35	0.55	0.39	1.2	0.70	1.1	0.64	0.67	0.68	0.35	1.2	
	野跡小学校	0.96	0.70	1.0	0.44	0.94	0.60	0.42	1.0	0.73	1.2	0.64	0.75	0.78	0.42	1.2	
	白水小学校	1.0	0.67	0.60	0.56	0.70	0.66	0.60	1.1	0.70	1.4	0.62	0.70	0.78	0.56	1.4	
	本地通	0.86	0.84	0.79	0.60	0.72	0.62	0.46	1.4	0.91	1.7	0.67	0.71	0.86	0.46	1.7	
	元塩公園	0.85	0.65	0.69	0.41	0.66	0.69	0.51	1.1	0.85	1.4	0.70	0.75	0.77	0.41	1.4	
トリクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.20	0.23	0.43	0.20	0.14	0.43	0.16	0.38	0.14	0.27	0.070	0.15	0.23	0.070	0.43	130 以下
	富田支所	0.44	0.13	0.15	0.47	0.11	0.53	0.66	1.3	0.29	0.65	0.13	0.11	0.41	0.11	1.3	
	港陽	0.89	0.18	0.44	0.29	0.12	0.64	0.22	1.2	0.20	0.73	1.1	0.12	0.51	0.12	1.2	
	野跡小学校	0.85	0.16	0.23	0.74	0.45	1.1	1.3	2.2	0.83	1.5	0.60	0.28	0.85	0.16	2.2	
	白水小学校	0.91	0.34	0.43	0.62	0.12	0.63	0.14	1.1	0.24	1.3	0.28	0.085	0.52	0.085	1.3	
	本地通	1.5	0.82	1.3	0.98	0.25	0.75	0.42	4.2	0.44	2.2	0.23	0.44	1.1	0.23	4.2	
	元塩公園	0.76	0.20	0.60	0.38	0.13	0.69	0.21	1.5	0.38	1.2	0.31	0.16	0.54	0.13	1.5	
テトラクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.085	0.063	0.88	0.052	0.082	0.064	0.023	0.17	0.041	0.081	0.027	0.037	0.13	0.023	0.88	200 以下
	富田支所	0.046	0.048	0.61	0.19	0.029	0.056	0.029	0.078	0.043	0.062	0.023	0.043	0.10	0.023	0.61	
	港陽	0.063	0.12	0.12	3.4	0.042	0.16	0.046	0.21	0.13	0.21	0.069	0.12	0.39	0.042	3.4	
	野跡小学校	0.16	0.045	0.040	0.070	0.075	0.11	0.089	0.10	0.057	0.16	0.034	0.048	0.082	0.034	0.16	
	白水小学校	0.33	0.039	0.13	0.13	0.046	0.40	0.29	0.73	0.11	0.38	0.23	0.20	0.25	0.039	0.73	
	本地通	0.15	0.041	0.094	0.066	0.054	0.14	0.076	0.23	0.15	0.30	0.085	0.12	0.13	0.041	0.30	
	元塩公園	0.15	0.044	0.25	0.061	0.054	0.13	0.31	0.22	0.32	0.26	0.18	0.53	0.21	0.044	0.53	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	3.3	6.5	4.8	2.8	4.9	5.9	2.6	9.0	1.5	3.2	2.2	2.2	4.1	1.5	9.0	150 以下
	富田支所	3.2	6.0	9.2	3.3	5.2	6.0	1.6	8.3	1.8	3.0	1.3	4.1	4.4	1.3	9.2	
	港陽	5.5	7.1	9.6	45	3.9	5.6	2.3	9.1	1.5	5.1	2.3	3.5	8.4	1.5	45	
	野跡小学校	3.5	4.6	8.6	2.2	2.5	5.3	2.1	7.0	2.1	3.3	2.5	3.7	4.0	2.1	8.6	
	白水小学校	6.1	8.3	18	12	11	7.2	3.4	11	2.7	7.0	2.4	3.6	7.7	2.4	18	
	本地通	7.9	6.6	24	3.8	4.5	6.6	3.1	15	2.8	8.1	3.6	4.9	7.6	2.8	24	
	元塩公園	8.0	7.9	9.7	11	5.1	5.0	3.8	11	2.4	7.5	2.2	3.8	6.4	2.2	11	

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	環境基準
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	1.1	1.2	1.1	1.1							3 以下
	会所町					0.95	0.96	0.90	0.74	0.89	0.74	
	富田支所	1.2	1.2	1.1	1.0	0.87	0.90	0.79	0.68	0.89	0.67	
	港陽	1.2	1.3	1.1	1.0	0.91	0.90	0.75	0.68	0.80	0.68	
	野跡小学校					1.1	1.0	0.92	0.78	1.1	0.78	
	白水小学校	1.2	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	0.83	0.72	0.92	0.78	
	本地通	1.5	1.5	1.2	1.1	1.2	1.4	0.92	0.77	0.94	0.86	
	元塩公園					1.1	0.98	0.86	0.72	0.83	0.77	
トリクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.42	0.57	0.39	0.40							130 以下
	会所町					0.40	0.55	0.34	0.19	0.40	0.23	
	富田支所	0.41	0.74	0.60	0.50	0.52	0.65	0.42	0.26	0.50	0.41	
	港陽	1.2	1.5	1.2	1.6	1.9	1.6	1.6	0.59	0.52	0.51	
	野跡小学校					1.4	1.7	1.4	1.1	0.90	0.85	
	白水小学校	0.98	0.89	0.65	0.73	0.78	0.84	0.72	0.39	0.65	0.52	
	本地通	1.9	2.4	1.3	1.0	1.4	2.4	1.2	1.0	2.0	1.1	
	元塩公園					0.76	0.95	0.68	0.32	0.68	0.54	
テトラクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.53	0.28	0.23	0.28							200 以下
	会所町					0.17	0.15	0.098	0.067	0.10	0.13	
	富田支所	0.11	0.13	0.10	0.090	0.10	0.13	0.072	0.038	0.064	0.10	
	港陽	0.51	0.30	0.17	0.17	0.21	0.19	0.22	0.12	0.23	0.39	
	野跡小学校					0.19	0.17	0.091	0.057	0.085	0.082	
	白水小学校	0.64	0.29	0.17	0.27	0.36	0.27	0.21	0.10	0.19	0.25	
	本地通	0.27	0.31	0.20	0.21	0.21	0.26	0.19	0.13	0.17	0.13	
	元塩公園					0.33	0.26	0.25	0.21	0.25	0.21	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	2.8	5.3	2.3	3.1							150 以下
	会所町					2.3	2.6	1.9	1.8	2.5	4.1	
	富田支所	2.1	3.4	1.9	2.3	1.9	1.9	1.9	1.9	2.5	4.4	
	港陽	2.2	3.6	1.4	1.9	2.1	2.6	2.0	2.0	2.6	8.4	
	野跡小学校					2.3	3.4	2.1	1.8	2.4	4.0	
	白水小学校	2.9	5.1	2.5	2.4	2.4	3.8	2.8	2.2	5.3	7.7	
	本地通	5.2	5.1	2.7	4.2	4.7	4.6	4.0	3.9	4.2	7.6	
	元塩公園					3.1	4.5	3.6	3.3	5.2	6.4	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

## (2) 指針値が定められている物質

## ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.033	0.025	0.035	0.023	0.014	0.024	0.011	0.21	0.020	0.029	0.032	0.031	0.041	0.011	0.21	2 以下
	富田支所	0.031	0.036	0.030	0.024	0.008	0.022	0.012	0.047	0.016	0.020	0.009	0.018	0.023	0.008	0.047	
	港陽	0.052	0.043	0.099	0.038	0.029	0.028	0.015	0.071	0.014	0.026	0.013	0.022	0.038	0.013	0.099	
	野跡小学校	0.049	0.098	0.034	0.029	0.034	0.025	0.013	0.057	0.025	0.018	0.012	0.018	0.034	0.012	0.098	
	白水小学校	0.069	0.050	0.063	0.049	0.063	0.049	0.038	0.091	0.054	0.076	0.036	0.038	0.056	0.036	0.091	
	本地通	0.034	0.038	0.046	0.019	0.029	0.025	0.016	0.047	0.036	0.031	0.014	0.017	0.029	0.014	0.047	
	元塩公園	0.057	0.061	0.10	0.042	0.046	0.043	0.022	0.073	0.052	0.047	0.012	0.023	0.048	0.012	0.10	
塩化ビニル モノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.0050	<0.0028	0.038	<0.0028	0.0054	0.0037	<0.0028	0.0058	0.017	0.0088	0.0028	0.0042	0.0079	<0.0028	0.038	10 以下
	富田支所	0.0047	<0.0028	0.043	<0.0028	0.0095	0.017	0.0028	0.026	0.019	0.0075	<0.0028	0.010	0.012	<0.0028	0.043	
	港陽	0.0061	0.0033	0.045	0.0038	0.0048	0.023	0.0034	0.011	0.019	0.011	0.0052	0.0081	0.012	0.0033	0.045	
	野跡小学校	0.0095	<0.0028	0.058	<0.0028	0.052	0.064	0.0030	0.022	0.017	0.012	0.0039	0.0081	0.021	<0.0028	0.064	
	白水小学校	0.017	<0.0028	0.058	<0.0028	0.0046	0.035	0.0032	0.0065	0.018	0.013	<0.0028	0.0069	0.014	<0.0028	0.058	
	本地通	0.011	<0.0028	0.054	<0.0028	0.0047	0.032	<0.0028	0.0066	0.016	0.011	<0.0028	0.0065	0.012	<0.0028	0.054	
	元塩公園	0.013	0.0050	0.060	0.0036	0.0070	0.045	0.0037	0.0072	0.018	0.011	<0.0028	0.0073	0.015	<0.0028	0.060	
水銀及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.44	0.76	1.5	1.1	0.98	1.0	—	1.9	1.4	1.7	1.2	1.5	1.2	0.44	1.9	40 以下
	富田支所	1.7	1.9	1.8	1.7	1.3	1.7	—	2.1	1.1	1.3	1.0	1.2	1.5	1.0	2.1	
	港陽	2.5	2.4	2.1	1.5	1.4	1.9	—	1.8	1.5	1.7	1.4	1.1	1.8	1.1	2.5	
	白水小学校	2.0	1.8	1.8	1.6	2.0	3.2	—	2.4	1.6	1.9	1.8	2.6	2.1	1.6	3.2	
	本地通	1.9	1.7	1.6	1.3	2.0	2.2	—	2.0	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.3	2.2	
	元塩公園	2.1	2.0	1.9	1.3	1.7	2.3	—	1.6	1.4	1.5	1.3	2.1	1.7	1.3	2.3	
	ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	3.6	2.6	<0.9	<0.9	<0.9	<0.9	<0.9	6.0	<0.9	2.0	<0.9	1.0	1.5	<0.9	
富田支所	3.5	5.7	<0.9	2.7	2.2	2.6	1.5	5.9	1.1	2.7	<0.9	1.7	2.5	<0.9	5.9		
港陽	7.6	7.1	3.2	3.9	1.7	2.1	2.5	5.6	1.3	3.1	<0.9	2.4	3.4	<0.9	7.6		
白水小学校	34	7.7	3.0	8.5	7.4	7.2	10	11	8.7	11	3.4	3.7	9.6	3.0	34		
本地通	17	4.7	13	3.5	7.8	2.7	1.9	15	1.9	9.9	2.2	4.2	7.0	1.9	17		
元塩公園	8.7	7.0	4.1	2.0	25	3.1	1.4	6.8	3.0	6.0	1.6	2.1	5.9	1.4	25		
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.15	0.17	0.13	0.13	0.16	0.17	0.13	0.18	0.13	0.16	0.16	0.15	0.15	0.13	0.18	18 以下
	富田支所	0.14	0.17	0.12	0.14	0.16	0.36	0.12	0.18	0.14	0.16	0.15	0.14	0.16	0.12	0.36	
	港陽	0.16	0.18	0.14	0.20	0.17	0.23	0.12	0.21	0.15	0.17	0.17	0.16	0.17	0.12	0.23	
	野跡小学校	0.17	0.18	0.13	0.16	0.22	0.29	0.13	0.21	0.16	0.19	0.19	0.17	0.18	0.13	0.29	
	白水小学校	0.19	0.18	0.14	0.20	0.18	0.27	0.16	0.31	0.18	0.23	0.19	0.17	0.20	0.14	0.31	
	本地通	0.18	0.16	0.13	0.16	0.17	0.20	0.13	0.24	0.21	0.21	0.16	0.16	0.18	0.13	0.24	
	元塩公園	0.16	0.19	0.15	0.18	0.18	0.22	0.13	0.22	0.30	0.21	0.17	0.17	0.19	0.13	0.30	
1,2-ジクロロ エタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.12	0.16	0.096	0.091	0.12	0.071	0.091	0.20	0.12	0.11	0.11	0.12	0.12	0.071	0.20	1.6 以下
	富田支所	0.12	0.17	0.094	0.10	0.12	0.15	0.088	0.23	0.12	0.096	0.10	0.12	0.13	0.088	0.23	
	港陽	0.12	0.16	0.11	0.088	0.12	0.11	0.096	0.21	0.11	0.10	0.11	0.12	0.12	0.088	0.21	
	野跡小学校	0.14	0.17	0.11	0.10	0.20	0.13	0.095	0.24	0.11	0.10	0.10	0.12	0.13	0.095	0.24	
	白水小学校	0.16	0.16	0.10	0.082	0.11	0.11	0.10	0.21	0.11	0.11	0.097	0.12	0.12	0.082	0.21	
	本地通	0.14	0.16	0.10	0.078	0.12	0.11	0.099	0.21	0.11	0.11	0.099	0.12	0.12	0.078	0.21	
	元塩公園	0.15	0.16	0.11	0.080	0.12	0.12	0.10	0.21	0.11	0.11	0.10	0.12	0.12	0.080	0.21	

注1 「&lt;」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注3 「—」はデータが欠測であることを示す。

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.045	0.072	0.13	0.070	0.035	0.053	0.042	0.13	0.085	0.14	0.059	0.072	0.078	0.035	0.14	2.5 以下
	富田支所	0.029	0.021	0.15	0.038	0.017	0.040	0.032	0.12	0.058	0.083	0.037	0.042	0.056	0.017	0.15	
	港陽	0.040	0.023	0.14	0.042	0.029	0.053	0.025	0.13	0.045	0.10	0.030	0.028	0.057	0.023	0.14	
	野跡小学校	0.092	0.023	0.19	0.044	0.066	0.054	0.033	0.089	0.050	0.11	0.040	0.037	0.069	0.023	0.19	
	白水小学校	0.061	0.029	0.15	0.056	0.021	0.049	0.030	0.090	0.047	0.11	0.030	0.033	0.059	0.021	0.15	
	本地通	0.062	0.051	0.17	0.067	0.041	0.069	0.038	0.14	0.10	0.17	0.059	0.053	0.085	0.038	0.17	
	元塩公園	0.059	0.020	0.16	0.054	0.047	0.089	0.052	0.10	0.064	0.14	0.060	0.055	0.075	0.020	0.16	
ヒ素及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	5.0	1.5	0.24	0.54	0.50	0.39	0.64	2.1	0.83	0.75	0.21	0.62	1.1	0.21	5.0	6 以下
	富田支所	4.3	1.3	0.20	0.54	0.36	0.49	0.88	2.1	0.66	0.37	0.21	0.55	1.0	0.20	4.3	
	港陽	4.3	1.2	0.47	0.57	0.46	0.58	1.3	2.5	0.81	0.84	0.31	0.84	1.2	0.31	4.3	
	白水小学校	4.4	1.2	0.64	0.50	0.80	0.65	1.7	2.5	0.85	0.82	0.38	0.82	1.3	0.38	4.4	
	本地通	4.5	1.2	0.56	0.45	0.74	0.56	1.4	2.4	0.71	0.78	0.28	0.67	1.2	0.28	4.5	
	元塩公園	4.6	1.3	0.61	0.47	1.0	0.57	1.4	2.5	0.89	0.80	0.36	0.78	1.3	0.36	4.6	
マンガン及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	32	30	8.6	9.3	6.5	12	9.3	39	16	26	5.6	11	17	5.6	39	140 以下
	富田支所	25	45	12	14	7.6	13	13	43	13	18	8.7	11	19	7.6	45	
	港陽	45	50	21	15	24	18	17	58	24	36	18	33	30	15	58	
	白水小学校	58	50	31	33	82	32	34	63	57	81	41	55	51	31	82	
	本地通	36	42	35	15	44	22	19	68	26	52	13	22	33	13	68	
	元塩公園	37	44	33	16	43	19	21	43	38	44	19	34	33	16	44	
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.6	2.0	1.4	1.1	2.0	94 以下
	富田支所	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.2	1.1	1.5	2.0	1.4	1.1	2.0	
	港陽	1.4	1.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2	1.9	
	野跡小学校	1.4	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.3	1.4	1.1	1.1	1.5	2.0	1.4	1.1	2.0	
	白水小学校	1.5	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.1	1.1	1.3	1.7	1.3	1.1	1.7	
	本地通	1.4	1.5	1.2	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.1	1.1	1.4	1.8	1.4	1.1	1.8	
	元塩公園	1.4	1.4	1.2	1.2	1.4	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2	1.9	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.8	1.9	1.3	1.2	1.8	1.2	0.99	2.9	1.1	1.7	0.57	0.81	1.4	0.57	2.9	120 以下
	富田支所	2.6	3.1	2.4	2.6	3.0	3.9	1.9	3.2	1.5	1.9	1.2	1.3	2.4	1.2	3.9	
	港陽	2.1	3.3	1.9	2.8	3.4	3.4	1.6	3.5	1.5	2.0	1.4	1.6	2.4	1.4	3.5	
	白水小学校	2.4	2.8	1.7	2.2	1.7	2.6	1.4	3.4	1.2	2.2	1.0	1.2	2.0	1.0	3.4	
	本地通	2.0	2.2	3.4	1.8	3.1	1.7	1.0	2.8	0.96	2.1	0.65	0.68	1.9	0.65	3.4	
	元塩公園	2.8	4.6	3.9	2.5	1.9	2.3	1.6	4.0	1.4	2.5	1.0	1.2	2.5	1.0	4.6	

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指針値
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.0076	0.048	0.069	0.048							2 以下
	会所町					0.031	0.050	0.053	0.025	0.059	0.041	
	富田支所	0.038	0.034	0.10	0.049	0.059	0.033	0.032	0.018	0.033	0.023	
	港陽	0.064	0.069	0.087	0.036	0.054	0.065	0.036	0.034	0.047	0.038	
	野跡小学校					0.077	0.047	0.058	0.040	0.057	0.034	
	白水小学校	0.074	0.17	0.24	0.19	0.12	0.11	0.063	0.048	0.066	0.056	
	本地通	0.034	0.079	0.13	0.061	0.049	0.059	0.032	0.024	0.035	0.029	
	元塩公園					0.14	0.13	0.057	0.050	0.063	0.048	
塩化ビニル モノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.017	0.015	0.012	0.043							10 以下
	会所町					0.016	0.0057	0.014	0.006	0.008	0.0079	
	富田支所	0.017	0.021	0.019	0.037	0.021	0.013	0.020	0.012	0.016	0.012	
	港陽	0.021	0.021	0.014	0.045	0.020	0.0086	0.024	0.009	0.017	0.012	
	野跡小学校					0.026	0.013	0.023	0.010	0.016	0.021	
	白水小学校	0.055	0.017	0.018	0.052	0.021	0.0086	0.021	0.010	0.024	0.014	
	本地通	0.018	0.022	0.014	0.050	0.021	0.0070	0.021	0.009	0.016	0.012	
	元塩公園					0.025	0.0063	0.022	0.011	0.018	0.015	
水銀及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	2.1	1.6	1.5	1.4							40 以下
	会所町					1.4	1.9	1.7	1.8	1.3	1.2	
	富田支所	2.2	1.6	1.5	1.6	1.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.5	
	港陽	2.9	2.5	2.4	2.4	1.8	2.7	2.8	2.4	2.2	1.8	
	白水小学校	2.9	2.7	2.7	2.6	2.1	2.4	2.5	2.4	2.0	2.1	
	本地通	2.3	2.0	1.9	1.5	1.4	2.2	2.1	2.0	1.7	1.7	
	元塩公園					1.4	2.2	2.2	2.0	1.8	1.7	
	ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	3.1	3.4	3.5	2.0						
会所町						2.1	2.6	2.2	2.0	2.2	1.5	
富田支所		4.4	5.8	4.2	3.2	3.0	4.1	2.7	2.7	3.6	2.5	
港陽		8.5	9.8	6.6	4.4	5.9	6.7	6.0	5.6	5.4	3.4	
白水小学校		10	13	11	9.2	5.9	22	14	12	9.1	9.6	
本地通		8.4	10	7.3	6.5	5.9	10	5.6	7.8	7.8	7.0	
元塩公園						9.6	12	9.0	12	8.4	5.9	
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		上下水道局北営業所	0.37	0.32	0.39	0.78						
	会所町					0.28	0.22	0.21	0.26	0.28	0.15	
	富田支所	0.23	0.31	0.31	0.47	0.30	0.20	0.21	0.29	0.29	0.16	
	港陽	0.51	0.40	0.37	0.45	0.36	0.27	0.26	0.30	0.35	0.17	
	野跡小学校					0.38	0.27	0.23	0.32	0.38	0.18	
	白水小学校	0.41	0.71	1.1	1.1	0.50	0.73	0.71	0.38	0.39	0.20	
	本地通	0.26	0.45	0.49	0.67	0.47	0.37	0.22	0.29	0.37	0.18	
	元塩公園					0.49	0.32	0.45	0.34	0.33	0.19	
1,2-ジクロロ エタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.12	0.14	0.12	0.19							1.6 以下
	会所町					0.14	0.15	0.18	0.16	0.17	0.12	
	富田支所	0.38	0.52	0.34	0.36	0.27	0.15	0.17	0.18	0.17	0.13	
	港陽	0.13	0.18	0.13	0.17	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	
	野跡小学校					0.19	0.16	0.17	0.19	0.18	0.13	
	白水小学校	0.19	0.18	0.14	0.15	0.15	0.15	0.17	0.17	0.18	0.12	
	本地通	0.13	0.17	0.13	0.16	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	
	元塩公園					0.16	0.15	0.16	0.18	0.16	0.12	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指針値
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.10	0.12	0.12	0.11							2.5 以下
	会所町					0.091	0.078	0.061	0.060	0.081	0.078	
	富田支所	0.076	0.097	0.13	0.12	0.072	0.078	0.046	0.046	0.053	0.056	
	港陽	0.092	0.098	0.12	0.092	0.067	0.10	0.043	0.046	0.052	0.057	
	野跡小学校					0.10	0.14	0.066	0.056	0.067	0.069	
	白水小学校	0.14	0.11	0.13	0.12	0.090	0.10	0.059	0.051	0.063	0.059	
	本地通	0.17	0.17	0.18	0.15	0.11	0.17	0.075	0.065	0.077	0.085	
	元塩公園					0.093	0.11	0.062	0.062	0.062	0.075	
ヒ素及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	1.9	1.2	0.96	1.2							6 以下
	会所町					1.0	0.95	1.0	1.9	1.7	1.1	
	富田支所	2.1	1.4	1.1	1.3	0.98	1.0	0.89	2.0	1.7	1.0	
	港陽	2.3	1.7	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	1.8	2.0	1.2	
	白水小学校	1.8	1.6	1.1	1.2	0.74	1.3	1.0	1.7	1.8	1.3	
	本地通	2.1	1.7	1.1	1.3	1.1	1.3	0.97	1.6	1.7	1.2	
	元塩公園					1.1	1.2	1.1	1.6	1.9	1.3	
	マンガン及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	17	23	17	13						
会所町						18	24	18	15	25	17	
富田支所		24	35	24	18	23	30	21	18	31	19	
港陽		44	57	39	29	36	54	36	31	43	30	
白水小学校		61	70	52	47	51	58	46	40	70	51	
本地通		40	55	40	31	37	56	34	30	45	33	
元塩公園						40	41	38	34	46	33	
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		上下水道局北営業所	1.4	1.4	1.4	1.8						
	会所町					1.2	1.2	1.4	1.4	1.3	1.4	
	富田支所	1.4	1.6	1.4	1.9	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	港陽	1.4	1.6	1.3	1.7	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	1.4	
	野跡小学校					1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	白水小学校	1.2	1.4	1.2	1.4	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.3	
	本地通	1.3	1.5	1.2	1.6	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	元塩公園					1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.4	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	2.1	2.7	2.5	2.4							120 以下
	会所町					1.7	2.0	1.9	1.3	1.6	1.4	
	富田支所	2.2	2.9	2.4	1.8	2.0	2.7	2.0	1.9	2.6	2.4	
	港陽	2.5	3.0	2.5	1.6	2.3	2.3	2.0	1.9	2.6	2.4	
	白水小学校	2.7	2.9	2.8	2.3	2.2	2.5	2.3	1.7	2.2	2.0	
	本地通	1.9	2.3	2.0	1.6	1.7	2.0	1.8	1.4	1.7	1.9	
	元塩公園					3.0	3.2	2.2	2.3	2.7	2.5	

注1 マンガン及びその化合物の指針値が設定されたのは平成26年度であり、それ以前の測定値は参考値である。

注2 塩化メチル、アセトアルデヒドの指針値が設定されたのは令和2年度であり、それ以前の測定値は参考値である。

注3 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注4 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注5 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

## (3) 環境基準・指針値が定められていない物質

## ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値
ホルムアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	2.7	3.7	2.0	2.4	4.0	2.6	1.3	2.5	1.3	1.7	0.68	0.93	2.2	0.68	4.0
	富田支所	3.6	5.7	4.9	6.9	5.0	6.7	3.5	3.5	1.6	1.9	1.4	1.6	3.9	1.4	6.9
	港陽	3.1	4.9	1.6	4.4	3.2	4.1	2.5	3.4	1.3	1.8	1.3	1.4	2.8	1.3	4.9
	白水小学校	3.4	4.0	2.5	5.3	2.8	4.9	2.3	3.4	1.4	2.0	1.1	1.3	2.9	1.1	5.3
	本地通	3.0	3.4	5.5	2.1	5.3	3.2	1.4	2.8	1.4	2.2	0.86	0.95	2.7	0.86	5.5
	元塩公園	5.4	12	11	6.4	2.7	3.7	2.6	7.1	2.7	3.8	1.2	1.6	5.0	1.2	12
酸化エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.055	0.084	0.051	0.039	0.025	0.040	0.052	0.098	0.031	0.071	0.015	0.030	0.049	0.015	0.098
	富田支所	0.059	0.078	0.071	0.047	0.034	0.040	0.059	0.078	0.033	0.022	0.016	0.016	0.046	0.016	0.078
	港陽	0.060	0.068	0.056	0.041	0.028	0.038	0.058	0.086	0.034	0.026	0.019	0.020	0.044	0.019	0.086
	白水小学校	0.083	0.071	0.057	0.041	0.027	0.050	0.066	0.12	0.060	0.074	0.016	0.043	0.059	0.016	0.12
	本地通	0.075	0.076	0.083	0.035	0.050	0.038	0.051	0.080	0.049	0.043	0.024	0.022	0.052	0.022	0.083
	元塩公園	0.069	0.076	0.085	0.039	0.026	0.041	0.079	0.17	0.058	0.041	0.011	0.024	0.060	0.011	0.17
ベンゾ[a]ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.13	0.10	0.087	0.017	0.014	0.032	0.027	0.17	0.10	0.24	0.034	0.087	0.086	0.014	0.24
	富田支所	0.079	0.44	0.034	0.023	0.015	0.055	0.029	0.17	0.074	0.15	0.034	0.053	0.096	0.015	0.44
	港陽	0.078	0.25	0.45	0.029	0.025	0.058	0.028	0.17	0.061	0.22	0.027	0.056	0.12	0.025	0.45
	白水小学校	0.082	0.33	0.12	0.029	0.35	0.059	0.034	0.18	0.078	0.20	0.038	0.068	0.13	0.029	0.35
	本地通	0.072	0.21	0.071	0.026	0.28	0.044	0.024	0.19	0.063	0.28	0.038	0.068	0.11	0.024	0.28
	元塩公園	0.068	0.34	0.29	0.024	0.22	0.055	0.025	0.18	0.082	0.23	0.050	0.063	0.14	0.024	0.34
クロム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	9.3	12	4.1	2.6	1.9	1.3	1.5	14	3.5	5.2	1.2	2.9	5.0	1.2	14
	富田支所	5.5	16	2.5	8.0	3.6	2.7	1.7	11	2.0	4.6	1.7	2.1	5.1	1.7	16
	港陽	17	18	8.5	13	6.2	4.9	3.5	15	5.3	9.1	3.9	7.3	9.3	3.5	18
	白水小学校	41	27	11	39	22	16	12	31	21	28	9.6	12	22	9.6	41
	本地通	12	17	12	5.9	19	8.4	4.5	19	5.5	13	4.3	6.1	11	4.3	19
	元塩公園	21	21	13	6.3	62	6.5	6.1	16	7.4	14	5.5	7.3	16	5.5	62
ベリリウム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.022	0.023	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.038	0.026	0.020	<0.019	0.021	0.017	<0.019	0.038
	富田支所	0.027	0.022	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.033	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.014	<0.019	0.033
	港陽	0.033	0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.020	0.033	0.026	0.021	<0.019	0.027	0.019	<0.019	0.033
	白水小学校	0.035	0.030	<0.019	<0.019	0.026	<0.019	0.027	0.038	0.021	0.032	0.028	0.033	0.025	<0.019	0.038
	本地通	0.032	0.024	<0.019	<0.019	0.021	<0.019	<0.019	0.033	<0.019	0.027	<0.019	0.025	0.018	<0.019	0.033
	元塩公園	0.025	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.021	0.023	0.026	<0.019	<0.019	0.032	0.016	<0.019	0.032
トルエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	8.5	5.3	5.4	6.4	7.7	11	3.6	19	8.0	17	2.5	3.6	8.2	2.5	19
	富田支所	6.0	3.0	3.4	5.6	1.8	6.7	3.5	15	5.5	11	4.5	3.0	5.8	1.8	15
	港陽	6.1	5.0	5.0	7.7	2.8	6.4	2.3	15	4.4	11	2.9	2.0	5.9	2.0	15
	野跡小学校	6.5	3.2	3.2	5.7	5.0	6.3	3.1	12	3.9	13	1.9	2.4	5.5	1.9	13
	白水小学校	10	3.9	5.5	7.0	3.3	8.4	4.3	15	6.7	13	9.1	3.0	7.4	3.0	15
	本地通	8.5	5.4	7.7	7.4	4.2	9.7	4.2	17	6.7	17	3.7	3.1	7.9	3.1	17
	元塩公園	9.1	5.0	7.1	7.0	2.5	9.7	4.1	16	5.4	17	2.8	3.0	7.4	2.5	17

注1 「&lt;」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。



② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ホルムアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	3.4	3.6	3.5	3.7						
	会所町					3.5	3.8	2.8	2.1	2.2	2.2
	富田支所	3.8	5.3	4.5	3.2	3.2	4.5	3.6	3.4	3.8	3.9
	港陽	3.6	4.2	3.5	2.4	3.0	3.1	3.1	2.9	3.3	2.8
	白水小学校	4.9	4.8	4.4	4.1	3.6	4.1	3.7	2.9	3.1	2.9
	本地通	3.4	3.8	3.5	2.6	2.8	3.0	3.3	2.4	2.5	2.7
	元塩公園					7.4	8.2	4.0	5.2	5.7	5.0
酸化エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.088	0.027	0.069	0.057						
	会所町					0.058	0.042	0.050	0.061	0.054	0.049
	富田支所	0.071	0.046	0.057	0.061	0.054	0.15	0.047	0.060	0.058	0.046
	港陽	0.082	0.058	0.057	0.058	0.054	0.072	0.049	0.079	0.070	0.044
	白水小学校	0.086	0.058	0.073	0.067	0.081	0.061	0.064	0.081	0.083	0.059
	本地通	0.080	0.056	0.063	0.060	0.060	0.048	0.061	0.082	0.059	0.052
	元塩公園					0.061	0.094	0.060	0.10	0.078	0.060
ベンゾ[a]ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.18	0.11	0.10	0.081						
	会所町					0.066	0.10	0.076	0.089	0.11	0.086
	富田支所	0.21	0.21	0.15	0.12	0.089	0.13	0.13	0.17	0.15	0.096
	港陽	0.14	0.19	0.17	0.16	0.076	0.11	0.080	0.12	0.13	0.12
	白水小学校	0.16	0.17	0.13	0.086	0.054	0.11	0.092	0.12	0.12	0.13
	本地通	0.16	0.26	0.17	0.12	0.083	0.20	0.098	0.12	0.15	0.11
	元塩公園					0.093	0.14	0.099	0.13	0.11	0.14
クロム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	5.1	7.3	6.5	4.7						
	会所町					4.7	5.4	5.2	4.5	6.8	5.0
	富田支所	5.9	7.8	8.5	3.6	5.2	7.4	4.8	5.5	9.3	5.1
	港陽	16	17	13	7.6	11	14	12	10	14	9.3
	白水小学校	21	27	24	20	14	38	20	15	24	22
	本地通	15	20	15	12	13	29	12	11	13	11
	元塩公園					17	19	15	17	14	16
ベリウム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.014	0.010	0.012	0.011						
	会所町					0.012	0.012	0.014	0.016	0.022	0.017
	富田支所	0.019	0.020	0.014	0.012	0.018	0.017	0.015	0.015	0.022	0.014
	港陽	0.021	0.030	0.020	0.019	0.020	0.037	0.020	0.021	0.029	0.019
	白水小学校	0.028	0.031	0.030	0.025	0.035	0.028	0.022	0.027	0.031	0.025
	本地通	0.025	0.030	0.019	0.017	0.014	0.019	0.014	0.018	0.023	0.018
	元塩公園					0.020	0.021	0.022	0.022	0.027	0.016
トルエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	8.4	13	8.4	10						
	会所町					12	14	9.5	6.1	8.5	8.2
	富田支所	6.3	9.2	8.1	7.0	8.4	10	7.6	4.2	6.6	5.8
	港陽	10	13	8.2	7.4	8.8	11	6.9	4.8	7.2	5.9
	野跡小学校					7.5	10	6.1	3.5	5.6	5.5
	白水小学校	11	13	10	11	11	12	9.4	4.7	7.7	7.4
	本地通	12	14	11	10	12	18	8.5	6.1	7.5	7.9
元塩公園					10	11	7.9	5.7	7.9	7.4	

注 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

### 3 環境基準・環境目標値

#### (1) 大気汚染に係る環境基準・環境目標値 ア 環境基準

昭和48年環境庁告示第25号  
昭和48年環境庁告示第35号  
昭和53年環境庁告示第38号  
昭和56年環境庁告示第47号  
平成 8年環境庁告示第73号  
平成 8年環境庁告示第74号  
平成21年環境省告示第33号

物質 項目	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
評価方法	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の低い方から98%目に当たる値(98%値)で評価する。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または8時間平均値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(短期的評価) 5時から20時の昼間時間帯において、年間を通じて1時間値が0.06ppm以下に維持されること。	(長期的評価) 1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であること(長期基準)かつ、1日平均値のうち年間98パーセントイル値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること(短期基準)で評価する。
参考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

イ 環境目標値

平成17年名古屋市告示第402号  
 平成29年名古屋市告示第804号  
 令和 2年名古屋市告示第 57号

物質 項目	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )
市民の健康 の保護に係 る目標値	/	1時間値の1日平均値が 0.04ppm以下であること。	/	1時間値の1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、か つ、1時間値0.20mg/m <sup>3</sup> 以 下であること。	1時間値が0.06ppm以下 であること。	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以 下であり、かつ、1日平 均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であ ること。
評価方法		環境基準と同一とする。		環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。
快適な生活 環境の確保 に係る目 標値	/	/	/	1年平均値が0.015mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	/	/
評価方法				1年平均値を環境目標値 と比較し、その他につい ては、環境基準を準用す る。		
備 考	・光化学オキシダントについては、令和12年度までに「昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」を当面の目標として設定する。					
参 考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

(2) 有害大気汚染物質等に係る環境基準・指針値

ア 環境基準が定められている物質

平成 9年環境庁 告示第4号  
 平成13年環境省 告示第30号  
 平成30年環境省 告示第100号

物質	環境基準
ベンゼン	年平均値が $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ ( $3\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) 以下であること。
トリクロロエチレン	年平均値が $0.13\text{mg}/\text{m}^3$ ( $130\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) 以下であること。
テトラクロロエチレン	年平均値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ ( $200\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) 以下であること。
ジクロロメタン	年平均値が $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ ( $150\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) 以下であること。

イ 指針値が定められている物質

平成15年環境省通知 環管総発第030930004号  
 平成18年環境省通知 環水大総発第061220001号  
 平成22年環境省通知 環水大総発第101015002号  
 平成26年環境省通知 環水大総発第 1405011号  
 令和 2年環境省通知 環水大総発第 2008201号

物質	指針値
アクリロニトリル	年平均値が $2\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化ビニルモノマー	年平均値が $10\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
水銀及びその化合物	年平均値が $0.04\ \mu\text{gHg}/\text{m}^3$ ( $40\ \text{ngHg}/\text{m}^3$ ) 以下であること。
ニッケル化合物	年平均値が $0.025\ \mu\text{gNi}/\text{m}^3$ ( $25\ \text{ngNi}/\text{m}^3$ ) 以下であること。
クロロホルム	年平均値が $18\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	年平均値が $1.6\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,3-ブタジエン	年平均値が $2.5\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
ヒ素及びその化合物	年平均値が $6\ \text{ng}/\text{m}^3$ 以下であること。
マンガン及び 無機マンガン化合物	年平均値が $0.14\ \mu\text{gMn}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化メチル	年平均値が $94\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
アセトアルデヒド	年平均値が $120\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

## 4 用語解説

### 一般環境大気測定局

一般に人が居住する場所などの大気汚染の状況を常時監視するための測定局であって、自動車排出ガス測定局以外のものをいいます。略して「一般局」といいます。

### 自動車排出ガス測定局

自動車排出ガスによる大気汚染の考えられる道路付近において大気汚染の状況を常時監視するための測定局をいいます。略して「自排局」といいます。

### 環境基準

人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、環境基本法第16条第1項により定められた基準。大気汚染物質については、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質の6物質、また有害大気汚染物質についてはベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質について環境基準が定められています。

### 環境目標値

大気の汚染、水質の汚濁等に係る環境上の条件について、それぞれ、市民の健康を保護し、及び快適な生活環境を確保する上で維持されるべき目標値として、名古屋市環境基本条例第5条の2により定められた目標で、平成17年7月29日に告示され、平成29年12月21日及び令和2年2月3日に一部改正しました。大気汚染物質については、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質（4物質）について「市民の健康保護に係る環境目標値」が定められており、浮遊粒子状物質（1物質）について「快適な生活環境の確保に係る目標値」が定められています。

ピーピーエム

**ppm**

Parts per million の略。100万分のいくつであることを示す分率で、ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われます。

大気汚染では1m<sup>3</sup>の大気中に1cm<sup>3</sup>の汚染物質が含まれている状態を1ppmで表します。

ピーピーエムシー

**ppmC**

炭素原子数を基準として表したppm値です。

マイクログラム ナノグラム

**μg・ng**

1μgは100万分の1g、1ngは10億分の1gです。

### 2%除外値

二酸化硫黄、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質の環境基準の長期的評価は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値で評価することとなっていて、これを2%除外値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、高い方から350×0.02＝7日分を除いた8番目の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）

### 98%値

二酸化窒素の環境基準は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%目に相当する値で評価することとなっていて、これを98%値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、低い

方から $350 \times 0.98 = 343$ 番目（高い方から8番目）の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）なお、微小粒子状物質は98パーセントイル値で評価することとなっていますが、98%値と同様に算出された値で評価しています。

## 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

主に重油など硫黄分を含む燃料が燃焼するときに発生するものです。また火山の噴煙にも含まれます。

無色の刺激性の気体で、水に溶けやすく、高濃度のときは目の粘膜に刺激を与えるとともに呼吸機能に影響を及ぼすといわれています。また、金属を腐食させたり植物を枯らしたりするといわれています。

## 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

燃焼時の高温下で空気中の窒素と酸素が化合することによるほか、窒素分を含む有機物が燃焼するときにも発生する一酸化窒素や二酸化窒素などのことです。発生源は、工場、自動車、家庭等多岐にわたります。

赤褐色の刺激臭の気体であり、高濃度のときは、目、鼻等を刺激するとともに健康に影響を及ぼすといわれています。

## 一酸化炭素（CO）

無味、無臭、無色、無刺激の気体で、有機物が不完全燃焼したときに発生するものです。発生源は、自動車によるものが多く、その他石油ストーブ、ガスコンロ、タバコ等からも発生します。

人体への影響は、呼吸器から体内に入り、血液中のヘモグロビンの酸素運搬機能を阻害するため、高濃度のときは、酸素欠乏症の諸症状である頭痛、めまい、意識障害を起こすといわれています。

## 浮遊粒子状物質（SPM）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が10マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の物質です。発生源は、工場・事業場、自動車、家庭等人為由来のもの他、土壌の舞い上がりや海水の飛沫が乾燥してできた海塩粒子等自然由来のもの、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などから大気中で発生する二次粒子や煙突から排出されたガスが大気中で冷やされてできる凝縮性ダストなどがあります。

この粒子は、沈降速度が小さいため、大気中に比較的長時間滞留し、高濃度のときは呼吸器等に影響を与えるといわれています。

## 光化学オキシダント（O<sub>x</sub>）

大気中のオゾン、パーオキシアセチルナイトレート（PAN）等の酸化力の強い物質の総称です。大気中の窒素酸化物、炭化水素等が強い日射を受け、光化学反応を起こして生じるものですが、その生成は、反応物質の濃度レベルのみならず、気象条件に大きく依存しています。

高濃度のときは眼を刺激し、呼吸器、その他の臓器に影響を及ぼす一方、不快、臭気、視覚障害などの生活環境や植物にも影響を及ぼすといわれています。

## 炭化水素

炭素と水素の化合物の総称で、本市の常時監視では、メタン及び非メタン炭化水素を測定しています。非メタン炭化水素は、光化学オキシダントの原因物質の一つで、主な発生源は、工場・事業場、自動車などです。

## 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が2.5マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の微小粒子です。粒径が非常に小さいため、気管支をすり抜けて肺の奥深くまで達し、呼吸器系疾患に加えて肺がんや循環器系疾患などを引き起こすと懸念されています。発生源は、工場・事業場からのばいじん、自動車からのディーゼル排ガス微粒子などの一次粒子と、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などのガス状物質が大気中で光化学反応により粒子化した二次粒子などがあります。

## ベンゼン

合成ゴム、合成洗剤、有機顔料等多様な製品の合成原料として使用されています。また、ベンゼンはガソリンにも含まれています。

特有の芳香性を持つ無色の液体で、水には溶けにくいですが有機溶媒にはよく溶ける性質があり、揮発性及び引火性が非常に高い物質です。

高濃度のベンゼンを多量に吸引すると、めまい、嘔吐、頭痛、ねむけ、痙攣、息切れ、意識喪失など主に中枢神経に影響を受けます。また、発ガン性が指摘されています。

## トリクロロエチレン

不燃性で脱脂能力が優れているため、金属部品の洗浄に使用されているほか、接着剤や塗料の溶剤としても使用されています。

クロホルムのような臭いがする揮発性が高い無色透明の液体で、目、鼻、のどを刺激します。短時間で多量の蒸気を吸引すると、頭痛、めまい、吐き気、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

## テトラクロロエチレン

不燃性で洗浄能力が優れているため、ドライクリーニングに使われるほか、金属製品の洗浄剤や溶剤、化学製品の原料などに使用されています。

エーテルのような臭いがする揮発性・不燃性の無色透明の液体で、高濃度の場合は目、鼻、のどを刺激します。蒸気を吸引すると麻酔作用があり、頭痛、めまい、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

## ジクロロメタン

塩化メチレンとも呼ばれ、安定な化合物のため、塗料の剥離剤や洗浄及び脱脂溶剤として広く利用されています。

揮発性・不燃性の無色の液体で、高濃度の蒸気を吸収する場合、目、鼻、のどを刺激します。麻酔作用があり、頭痛、めまい、吐き気を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 指針値

「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」として定義されており、環境基本法第16条第1項に基づき定められている行政目標としての環境基準とは性格及び位置づけが異なります。

アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル、アセトアルデヒドの11物質について指針値が設定されています。

## アクリロニトリル

アクリル系合成繊維、合成ゴム、ABS樹脂及び塗料に利用されています。

可燃性の無色の液体で、粘膜への刺激作用があり、大量に暴露すると中枢神経麻痺になります。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 塩化ビニルモノマー

クロロエチレンとも呼ばれ、食品包装材、ビニルシート、建材等に広く使用されるポリ塩化ビニルの合成原料となるものです。

無色の気体もしくは液体でエーテルのような臭気がし、高濃度で暴露すると麻酔作用があります。また、発ガン性が指摘されています。

## 水銀及びその化合物

蛍光灯、温度計、アマルガム等に使用されています。

常温で液体である唯一の金属で、高濃度で蒸気を吸入すると腎臓への影響があり、低濃度の場合においても神経系、免疫系への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、メチル水銀化合物は発ガン性があるかもしれないといわれています。

## ニッケル化合物

金属、合金元素の他に多くの化学形態があり、貨幣、ステンレス鋼や耐熱・耐蝕合金、メッキ、触媒等に使用されています。

職業的に高濃度で暴露すると呼吸器への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、発ガン性が指摘されています。

## クロロホルム

主に化学品の製造原料として使用され、フッ素系冷媒やフッ素樹脂の原料等に使用されています。

揮発性を有する無色透明の液体で、蒸気には甘みがあり、常温で日光に長時間さらされたり、暗所でも空気が存在すると徐々に分解し、有毒なホスゲンを生じます。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 1,2-ジクロロエタン

主に塩化ビニルモノマーやエチレンジアミン等の合成原料の他、フィルム洗浄剤、有機溶剤、殺虫剤等に使用されています。

クロロホルム様の臭気があり、常温常圧下では無色油状の液体で揮発性が高く、引火性があり、煙の多い炎を伴って燃焼します。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 1,3-ブタジエン

合成ゴム（SBR等）の原料、樹脂（ABS樹脂等）の原料、合成ゴムラテックスの原料などに使用されています。

常温常圧下では弱い芳香を有する無色の気体で、化学反応性に富み、熱又は酸素の存在下で容易に重合します。また、可燃性が強く、空気と接触すると爆発性過酸化物を生成します。また、発ガン性が指摘されています。



## ヒ素及びその化合物

主に農薬、木材防腐に使用されています。化合物は発光ダイオードや半導体の原料などに用いられています。

無味無臭かつ無色の毒物で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの急性症状や、皮膚炎、骨髄障害、末梢性神経炎、黄疸、腎不全などの慢性症状がみられ、発ガン性も指摘されています。毒物及び劇物取締法により医薬用外毒物に指定されています。

## マンガン及びその化合物

合金の原料、マンガン乾電池の電極、酸化剤等に用いられています。必須微量元素であり、欠乏すると皮膚炎、毛髪の障害、低コレステロール血症などが起きます。その一方で経口又は吸入経路で多量に取り込まれると、記憶障害、歩行障害、言語障害などの症状がみられます。

## 塩化メチル

クロロメタンとも呼ばれ、主に医薬品、農薬の他、有機合成用各種メチル化剤等に使用されています。

可燃性の無色の気体で、吸入により中枢神経系に対する作用がみられ、高濃度暴露では視覚・判断力・記憶力の低下等が生じ、さらに酩酊状態を経て痙攣、運動失調を起こして死亡することもあります。

## アセトアルデヒド

主に酢酸やエチルアルコール等の製造原料の他、魚の防腐剤、防カビ剤等に使用されています。

無色透明の液体で青臭い刺激臭があり、液体及び高濃度の蒸気は、目、鼻、喉の粘膜や皮膚を刺激し腐食を起こす他、麻酔作用及び意識混濁、気管支炎、肺浮腫等を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。